ケルが首相となった時には、

終わろうとしている。 (キリスト教民主同盟)

2005年、

C D U

のアンゲラ・メル

まさかそれが

あと1年余りで、

第 4

次メル

ケル

政 権が

忽然と現れた東独出身の女性が、既に95だにしなかった。東西ドイツ統一の直前、

既に9年

16年という長期政権になろうとは誰も予想

連続で「世界で一番影響力のある女性

たい。

一つ目はドイツの左傾、

二つ目は中

国との抜き差し難い関係。

この両方を先頭

変わったか。

本稿では二つの変化を考察し

フォーブス誌)」だ。

15年のメルケル治世の間にドイツはどう



メディアが支持したメルケル、





#### 毎月1回1日発行 1963年1月1日 として発刊

# |||マーン恵美

(ドイツ在住作家)

EUとドイツを崩壊に導く?謎の独首相 後世の評価はいかに? ケル だ。 ίV

に立って進めてきたのがメル ドイツで何が起こっているの か?

# 謎に包まれた女宰相

ポイントは、 いる。女性、頭脳明晰。さらに一番重要なルケルが見い出されたということになって で、首相は東西ドイツ統一の立役者、 入党したころのCDUはまさに保守の本丸 ムート・コール。そのコー の過去の多くは謎に包まれている。 「裁党であったSED X ル ケル 0) 東独出身でありながら、 前身は物理学者。 (社会主義統一 ルに、 しかし、 無名の 彼女が

(7月号)

大正デモクラシー中国論の命運 日記で読む昭和史 (19) 特派員リレー報告⑱サンパウロ 徳光衣城の新聞街放浪記 6 完 ここまで進んだケネディ暗殺事件解明 メディアが支持したメルケル、後世の評価は? 【プレスウオッチング】 「コロナ」で大切なことが忘れられた 次 24 小池 名越 加 鳥居 健郎 潔司 亮太 英晴 俊英 新 6 30 28 21 18 10 1

検事長賭け麻雀は「3倍満」級スキャンダル 【メディア談話室】 (放送時評) 井内 康文 16

新型コロナのワクチン争奪戦 テレビ、コロナ禍での教育機会を創出 (海外情報 (欧州) 小林 音 恭子 好宏 8 24

BLM運動が加速度的広がり (中国) 津山 恵子 14

西 茹

海外情報

[海外情報

(米国)

つまり、 新 32 26 生

調査会だより、編集後記 露天商復活めぐり議論呼ぶ

と無関係だったかどうかは、 K ったわけだが、ただ、彼女が本当にSED イツの求める人材の条件にピタリとはま メルケルは東西ドイツ統 切関係がなかったこと。 一直後に成立し 今も諸説ある。

抜雑された第3次 政 尋常では でも異例だが、 (権では環境相も務め ない。 た。 コ 1 36 ル その 歳、 1 政 9 権 94 後 政 治未経 0) 年 出 婦 人 Ó 世 第 0 験 スピ 4 青 次 少 年 1 れ コ ドはけ ] 相 ル

ち、 は、 る もなく を破り、 たゆえんだ。 党首に就任。 つ たが、 半 に政権を譲る。 98 党首辞任に追い込んだの 首相在任中のヤミ献金問題で窮地 S P D 年、 分はメル 統一 そして、 ドイツ初の女性首相。 その コール 30年だから、 F さらに05年にはシュ ケル コ 父親殺 3カ月後には自身 イツ社民 ールにとどめ 0) C D U 0 その後間もなくコ 治 し」と陰口 世ということに 党 統 は 総選 ド がメル のシュ の一矢を放 K イ 一挙で レリ を叩 スが C D ツ イツはま ケル 0) レ 歴史 ダー に陥 ] 大 か 1 n U だ 敗 ダ

# 原発容認派から原発反対派への急転換

が、 基盤 る。 や D との 第 1 第2次でFDP はまだそれほど安定して ル び 大連立だっ 次 ケル 伸びと独自 メ ル 政 ケ 治が明 ル 政 権 0) (自民党) 確に 時 政治を展 0) 05 メル 左 ( 09 と連 e V ケル 切 年 開 なか ŋ し始 替 立 0) は する 9 S 政 わ

> ど 11 たの は 見 年の は、 この 福 島第 第2次 1 原 発事 政 権 故  $\mathcal{O}$ 中ごろ、 の時 からと、 ち ょう 私

豹変の里した。 を22年までにすべて かようぐん のようぐん した。 して、 <u>h</u> 延長で、 物笑 でもなく、 うロジックで、 を、 年数を一気に延長した。 う説。というの 有 すかさず、 の反対を押し切って、すべ ター・ つくられた電気を隣国から輸入するなら、 止して『良心』を示し、 力なの 和 ところが、そのメル がおおよそ定めていた原発停 実は、 番安全な原発を持 13 平均12年も先延ばしにしたのであ 0 的 「ドイツが原発と石炭火力発電 )まり、 事 アルゲマイネ紙)と語 の種になるだろう」(フランクフル 利用を停止することは馬 実、 は、 メ そ 由は今も取り 「福島が私たちを変えた」 ル 自 0) 自身の ケル 脱原発の 福島事故 分 3 地震も津波もな 0) 年 は窮 て止めると決め 政 前 起 前 治 0) 狙 ケル |述の原発 死回 つ 生 地 の前年に野党や国 沙汰され シュ た国 08 命 に陥 同時に同じ電 いは環境でも安全 、ての原 年、 が福 の救 生を図ったと **%発稼働** レー が、 って っている。 X 済だったと 島 11 7 原子 止 鹿 ル 国 の事 ダー 11 発 いるが たから げ ケ 年 0 0) 0) 所 と 期 稼働 原発 を停 7 ル 故 る 力 前 源 そ 民 お 0 日政 は

く当たっているだろう。けているメルケルのこと、この憶測は恐らいうことになる。機を見る能力が人一倍長

引してきたのはSPDだった。ところがおまで長らくドイツにおける反原発運動を立 あまりの無計 因は、し の真ん中に君臨し、それどころか、 然、メルケルが環境派の花形としてド ことほぎ、 ていたのだ。 ねないほどのコストに、 はなかった。 から賞賛を受けてい 表情を、 当時のSPDの政治家たちの かし、 私は忘れることができな メルケルの支持は跳ね上がっ メル しかし、 画さ、 この変わり身の早さだけで ケル 国家経済を破綻させ た。 SPDの 驚愕 のエネル 国民はその脱原発を 彼らは言葉を失っ ギー 呆然とし 世界中 政 策 の原 イ た。 穾 牽がれ 0)

# 無制限の難民受け入れでEUを窮地に

der Angela. うと思っていたからだ 治家になった時、 X そこが分からない。 心がない ル 独 ケ 皆、メル が ル 瓦解 0) M 13 か、 は より り。 思 ケルは 彼女の それ 想 メル が とも な (『Das erste ケル ただ、 緑の党に入るだろ 知人たちは e V 隠 とよく が C D メ 7 ル Ŭ の 言 ケルに Leben る わ 11 た 政 n

れ月 を開 再度ドイ ず メ ルケル 始し n にし ツ 国 は ても、 中 脱原 民を虜にした。 東 難 発 民 0) 0 0) 時 4 無 と同 年 制 後 限 0 0) 高 受 15 け 揚 年 入 9

数は、 とっても爆弾だった。 間 されたが、 ル 玉であったシェンゲン協定さえ壊 国 n 0) 口 てドイツの  $\mathcal{O}$ ケ EU離脱に舵を切り、 でもないことになる」。そう思った英国 った。「ド のりに、 い 怒という。 b 单 にほごになり、 」「人種差別 ための選択肢) ルの難民政策を批判したAfD が次々と国境を閉じたことで、 た難民が自国に流入することを恐れ 難民についての取り決 2起こっ なくパリでイスラム過激 東 のテロリストが紛れ込む危険が指摘 のようにドイツに押し寄せた難民 15年だけで8万人 ブリ はっきりと分断し始めたのである。 難民はドイツのみならず、 イツの主導するEUに 世論 て 1 3 0 K イ ユ は、 それどころか、 ッ ツ政府はそれを だとして退ける。 が急伸した。ここに至 セ ル メルケル派と反メル 人が亡くなっ F ダブリン協定 8 イツ国内ではメル 仏 (公称)。 0) 派の は一 ドイツ いてはとん E U 瞬 たのを皮 無差別テ 根 れてしま スなどで F 当 似拠がな E U 0) Ê U かし、 一初よ イツ た各 うち 0) 0 ケ 目 つ

> が テ つ 日 口 1 が それ 相 口 ツ 次ぎ、 パ は今も続 0 町 大量 0) )風景を 0) てい 卜 る。 圧 口 す 1 るように ル 警官 0) 姿

# 左派政党の主張を着々と実現

どの なくなった。 を、 といった左派 びたものが多い 所の完備など、 徴兵制の停止、 ギー 彼 女が明 メル その結果、 政 政 策を振り 策と難民政策はもちろんのこと、 ケルが着々と実現してきたとい 確に権力を掌握 0) 典型的 同 返ってみると、 X 政 S P .性婚の完全合法化、 ル 党の ケルには Ď な左派の色合 主 張 緑の党、 したこの して 政 一敵が 前 e V 述 左派党 た政 いを帯 ほ 0) 10 エネ ぼ 託 年 策 児 ほ

党にい と言わ 売り物が無くなっていた。 次 とくに、 層へ メルケル 会主義的 Ó であったはずが、 D ためにさらに左にずれるしかなく、 は次々にお株を奪われ、 れ、 強の 0) ながら、 税率の CDUの 政権でCDUと連立して 第 1 復活かと思われるような過 政 策を叫 さらなる引き上 次、 部 シ手強い 今や見る影もなし。 の住宅の国 第3次、 カウンター か 気がつ そして現 つて国民 げ |有化 など、 や、 11 £ V たら る S 激 第 政 1 ま 富 与 延 党

# |女の人気を支える主要メディア

彼

には、 ている。 が緑の党とメルケルのコラボを心待ちにし でいる。 党は今でこそエコロジー党の顔をして ど、これまでの常識ではあり得な かったのは緑の党だったというの ることもさもあり イツが現在スムーズに左旋回を遂げつ 公然の秘 言われる。 ことに、 レフトの思想を色濃く引く人たちも潜 方、 政治思想は思い なぜか緑の党のシンパが多く、 このメディアの応援を思えば、 ちなみに、 C 密だ。 彼女が現政権で本当に連立した D メ U ル 0) CDUと緑 宿敵、 なんと思えてくる。 ケルと一 ドイツの主要メデ 切り左で、 緑 番波長  $\mathcal{O}$ 0) 党 党 過激 は、 の連 は、 が なニュ 合うと 奇 立 既に イ 0 彼 いる 緑 妙 あ ド ア な ん 0)

全方面、 党とみなされてしかるべきだが、 Α いう汚名を着せられ、 そうはならない。「極右」「反民主主 州議会で議席を獲得しており、 党はAfDしかい というわけで、 f D 党だ。 からの熾烈な攻撃に が 既存の政 普通 ない。 党にとっ なら市民権を得た保守政 現在のドイツには真 政 **公治、** AfDはすでに全 に晒され て、 メディ 国会では野 現 かに大き 7 アなど いる。 実には 義 0 と 野

b な脅威である n 年ほど前まで言 っない。 たために空白となった保守の 実は つまり かと Α つて A f D は、 f いう D i V 0) たこととあ 主 証 拠だ。 張 C D U は、 C スペ まり が左にず D U

変

が

10

すっ

ぽり入り込んだとも言える。

]

敵対するという歪な構造になっている。保守派の党員が団結すると、自らの党首 派 守路線からの逸脱に我慢ならなくなった硬 支持者が皆、 !なわけはもちろんない。 プを結成した。 の面々が立ち上がり、 この成り行きに、 納得しているかというと、 つまり現 反メルケル 17 年、 C D U 在 O C D U の党員 自党の保 党首 0) グル は そ Þ

## 「中国はド イツにとって一 番大切 な国」

\$ 中 国との密接過ぎる関係だ。 大切な国」。 ·路線では常に政 はくみしない。 れと並 中 中国はドイツにとってアジアで一 觓 プ米大統領の失言や、 国に何らかの責任を問うような発言 アリバイ程度。 羔 行して進んだの だから、 人男性死亡事件などは大きく 府と歩調を合わせており、 何 か 今回 言っ 主要メディ ロのコロ が、 ても、 メ 米国 ル K ナ騒 ケ 中 イツと ĺ 귪 ぎで 11

> 高い 明した際、 交は盛んで、 制裁を受けそうになると、 かド な報道の いこ 星を救おう!」と誓い合った姿は、 ランプがCOPのパリ協定からの離脱 止めるのが彼女の役目だった。シャト これまでも中国がダンピングなどでE ブラックユー もまともだと思っている国民が結構多 0 道 略 いずれにしても、 ては、 イツには、 評価を受けている首脳は他にい 的 しても、 意 仕方はしてこな 図 広く一 約24兆円)を超えた。 や メ 19 年、 ・モアの ルケルと習近平 中 習近平の ウ 玉 1 0 世界だっ 独中の交易総額 メルケルほど中 0) グ ルの 人々の かっ 方がトランプより 帯 人権 真っ先にそれ が並 た。 耳に入るよう 路 その んで に 17 まさに は な 国 お を表 20 [から ル U け せ 1 外 を

したし、 る中 がずっと手を拱い 蓄えた。 な資本を投下し、 そうするうちに中 国 国 0) イタリアは との 動きを黙認 中 0 まり、 国に逆らえない 交易で膨 EUの中心 着 て、 今さら中 して 々とEUでの影響 国は南欧や東 E U 帯一路に正式に 大な利益 EU国 国であ たの 0) 玉 分断 . の 覇 を得 は、 るド は既 欧に がどう こつなが 7 分た イツ 加盟 力を 莫大

> のこうのと文句をいえる義理 では な

## コロナ禍に 苦し むイ ・タリ ア , を見捨! てる

Е

U

で

人

勝

ち

0)

K

イ

対

L

7

長

年

口。 0 ことが暴露された(「中国でのコロ で寄稿した文章が中国の検閲を受け、 27ヵ国の外交代表らが ChinaDaily に 困った時に助けてくれたの てた。だから結局、 だった。 必要としていたのは、 るのである。 ことを禁じたこと。この時点での ドイツ政 で爆発した。 口 いう現実を生きていくしかないのだろう。 おける感染者は累計240人、 ナウ [の援助に魂胆があると分かってい スの発症と、それに続 その EU側がそれを従順に受け入れ 同日 てい イ 5月の初めには、 しかし、ド 0) 1週間後には1万2500 府が自国 ル のイタリアの感染者は た不満が、 一広がり スの 致命的 医療物資をどこよりも緊急に 発症は 0) は」という文から、 イタリアは、 医 だったの イツはイタリアを見捨 9 間違いなくイタリア |療物資が国 e V 以 にコロ ツに は中 外のすべてが削 た3カ月 北京駐在のEU は 3月 ・国だったと 死 外に出 3 0 8 9 K ナ たとえ中 、ても、 者 イツに ナウイ 人にな 0) 7 4 |共同 間 は コ L 到 11 H た か る 来

除され すでに EU た。 0) 中 スタンダー 玉 に盾 突くことを嫌う F 0) よう Ó は

#### 中 玉 な しに 経 済 が 立て 直 せ な 1) K 1

は、 感染の ヤン。 た。 到着した時には、 輸出を復活させようと産業界は死に物狂 済復興に中 くぶれることは だか 半分以上を輸出に頼るドイツのこと、 買収は阻止 存は見直 先日、 迎えるはずだった政治家は5人とも、 一方、 16, とても分かりやす 危険があるからという理 台湾からの援助物資が 今後 中 国は必須。 国からのマスクが軍 する方針とは言う ない。 もド 中 国資 国防相までが迎えに 1 ッツの 重 本によるド 刻も早く中 要物資の 対 中 姿 由 でド - の空 届 中 勢 イツ企業 -国への G 国 が 13 -タキ た時 港に |全面 大き D 出 Р 13

U 係 を まとめ、 ケぼ ív 三画だっ せるかが各首脳 務める間に、 の首脳会議が開催される予定だ。 来たる9月、 になっ がテーマに選 別ゲストは習近 たと思 てしまったEU 自 分の引退の花道にしようという ドイツが議長 11 わ れる。 んだの 0) かにEU政治に影 力の見せ所だ が 0) かし、 対中  $\overline{E}$ 恐らく 以国となり U が、 策を 影響を及議長国 ŋ バ 中 ラバ関 メル Ò 取 ŋ Ε

> だし、 が世 立 は 首脳 か ない 界を駆け巡るというのは その 習近 は 夢で終わりそうだ。 自 平もビデオ参 周りをEU首脳たち 国 0 経 済 0) 立 加 一て直 習近平と しに X が ル 井 大 ケ む わ 写真 ル 並 5 び

#### 50 年 後 の 評 価 は 11 かに?

る。そして、それをしっかり支えてい 乱立状態だ。 か? 化させたメル メディアだ。 だけという奇妙な現象が常 たびに票を減らし、 さ て、 ここ数年、 X ル ケル 人気を保っているのは ケ んだが、 ル 後 わじわとSP 現在のドイツは  $\mathcal{O}$ 実は CDUも 世 界 は 態 ど 化 D う して メル を弱 なる 小党 選挙 る 11 ケ 0)

が

ル

う、 0 ため 性は正しい 方 済的のみならず、 どちらも将来に禍根を残 13 かる大失敗で、 がまずかったから難航しているが、 ない。なのにメディアはそれ 例えば、エネルギー エネル 年 12 党首 \_ と メ ル 月、 ギー 当 0 の も難 とくにエ 座だけ後継者 うざっ メ 物理的にも ル 民も一 ケルの ケル 政 ネル 策と難 すほどの はここ数 国 切 免罪に余念が 政 口にせず、 計 ギ から逃 算が 譲 1 民 を、 って 経費 政 政 合っ 策 策 は れ が は、 9 向 n

った。 中、 交に専念し、 ところが先日、 そして、 救世主のように国政 世 自 その 分は 界を飛び 首相 メ ル 回って に登場。 として華 ケル がコ 13 る。 やか 口 ナ

0)

な

守り、 見ても、 でのドイツの悪評 それが、 はないとされているが、この ン仏大統領と共にEUへの る。メルケルの威力はいまだにすご 支持率まで急上昇という珍現象が起きて たところ、メルケルだけでなく、 た。そして、慈愛に満ちた表情で国 なった時点という絶妙の 崩壊も起こらないということがほぼ これに気を良くしたの も提案した。 Ď, 注意を喚起し、破格の援助を断 万が一は想定すべきだろう。 ド 来年の総選挙への助走っぽ イツでは感染が爆発せず、 現在、 判も一掃すべく、 第5次メルケル政 か、 夕 大々的な財政 イミン 行動を見 ついでにEU C D U の グだっ 確実に マクロ [民を見 行し かも て 医 権 出 11 11 療

のは、左傾したド つて 本では いずれにせよ、 50 メ 年後のド メルケル ル 相 ケル 做称 メル を神聖視する人たちも多 価さ は イツ人が現 イツと中 E U ケル n とド るの 国 が将来に残すも 在を振り返 ではな イツをバラバ 0) 従属だ。 かと

ィア展望

## プレス



新

は 5 月 14

日電子版

で

日

本の

奇妙

な成

ジャーナリスト 小池

整理して考えてみる。 題が露出し 驚くべき出 休業要請がほぼ 新型コ とおしまいにしては 感染は一山越したの 口 ナウ 来事が連続。 た。 多くの 全面解除され 1 ル スで6 死 この か。 元者と困 けな 月 国と国 た。 19 Ħ ああよ 留窮者を出 民 0) 自 問 か 0) 間 粛と 課

# 「奇妙な成功」 の要因は

たら、 )日本は抑え込みに成功したの その理由は何なの か。 だと

が 安倍 米 玉 晋三首 一の外 交誌 相 は 死者の 「フォ 1 少なさを誇 IJ ン ポ IJ 0 た

> 読売朝刊 た。 は マニュエル・ 解だが、すべてが正しい方向に進んで 死亡率は世界最低 ことをしてきたように思えた」 イルスとの闘いで、 では説明がつかない」とした。 ように見えてしまう」と指摘。 起こさずに感染者数は減少して 人を思いやる文化」「握手をし 衛生意識の高さ」を挙げつつ と報道。 要因の解明は今後の課題だろう。 個人主義とリベラルの文化的伝統が か規律重視の 日本など死者の少ない国 が取り上げた。 「あすへの考」で歴史人口学者 トッド氏は、 それを5月25日付 公伝統 (水準) 日本はすべ 同誌は (がある)」 で、 死者の多い には 、て間違 ない 理由に 「これだけ 5 月 31 日 いる。 医療崩壊も 「しか 産経 コ と述 風 口 権 玉 土 不 つった ナゥ 世 11 他 あ 付 可

# が分からない 「東京アラート」

訳

の人が予測を語っているが、 2 論に持ち込む 付 コ 毎日朝刊 田 ロナ後」 ロナ後」とはどんなものなの は <sup>\*</sup>我田引水<sup>\*</sup> という言葉がまん 時代の風 「世界は コ で中 0) 口 ナ便 印 ほとんどは 林美恵子 延。 乗の 5 月 か オ 多 31

が分からないまま発令、

解除さ

n

た

帰が雪崩を打つことなどあり得な 利便性も改めて浮き彫りになった。 が、一方で医療資源の地域間格差と都 で都市から地方への移住が進 まだらのはず。 させるだけ」が正解だろうが いうより、 で国 1 レードだ」と評した。 ルド氏が言う「すでにある流れ 際政 6月10日付朝日朝刊オピニ 治経済学者ジェームズ・ 例えば、テレ 大きく変化 むとい ワークの その を加速 地 わ 流 ホ すると 拡大 オン れる れも IJ 方 市 口 0)

授は、 人々の間に様々な『軸』を歪な形で引 対策関連死を生む可能性は高い」 コロナ対応策が、 付読売朝刊文化欄で開沼博・立命館 なダメージは低所得層に大きい。 51 た」と指摘した。 せただけではなく、 いった」「(コロナは) 日本政府の対応は、 使われた用語は正しかったの 地ローレンス吉孝・ 月10日付朝日夕刊 被害は慢性化する」との言 東日本大震災と結び 生活習慣病、うつ、 震災関連 確かに、 すでにある格差を広げ 新たな格差を生じさ 日本社会に暮 立命館大研 「にじいろの 死同様、 コロ 付けて「 D V ナの ほ重 と予測 「現状の 経 究 月 18 議 コ 大准 5 員 口 済 いて は ナ 教 で H 的

表現だ。 じいろの議」 距 を、 を連想させる」とした5月20日付朝日 わ 朝日見出し) 意味あったの?」(6月13日付東京見 『東京アラート』 が命名し、 7 東京アラート わりや、 離 る。 選挙を控えた 言葉が意味を失 は直訳過ぎ、 キスやハグといったスキンシッ 新聞はもっと神 濃厚接触」を メディアが という疑問は当然。 古田 \_\_ ただの 何のため」 [哲也 <sup>″</sup>ワンフレー 1, 自 飛 粛警察」 経を使うべきだ。 遊び感覚で浮 「セクシャル 東大准 び 注 付 意 6月 · ズ 政 た。 教授に同 は 0) 「社会的 にイヤな 治 16 出 サ な交 イン 日付 何

# 決然とした言動がな

果、 4 強かったということだが、 国 危ない 役割を超えたことの総括記事。 デモ で黒 一の中の全てが 6 コロナ」 自粛の繰り返しで心身が萎縮。 どこまで」は、 大切なことが忘れられてしまった。 月 (人男性) 0 11 日 を連 付 で何が 男性 が白人警官の暴力で死亡。 朝日朝 呼した影響は大きかっ 「生命・安全最優先」 の弟がマスクなしで兄 感染 分かったの 刊 症の研究者が 専 メディアで連日 門家会議 危機 その にな た。 感が 本来 抗 米 結

> とがある。 には大事なこと、 口 ビで見た。 こそ重大だ。 決然とした言動が今の日 ナは怖 0 か」という点から検証 0) 意味 か」と思 示を口 そのために踏み出す。 おいお しかし、 「そもそも自 い、そして考えた。 角泡を飛ば やらなければならないこ 17 いくら怖くても、 ウイ 本にはない。 して語 する必要がある。 粛は必要だった ル ス るの は そうした 確 怖 をテレ かに それ <

# 記者はヤクザと五十歩百歩

経 1 断 することもある」としながら「ズブズブで 厳しい批判を浴びた。 長と賭けマージャンをしたことが分かって み を飲んだり、 付毎日朝刊でジャーナリスト大谷昭 着の図式に大いに憤慨していよう」。 言いたいが、 こういう記者も一 記者は取材 E, び どうしても触 面コラム「春秋」。 **5**月 な関係」 産 ヤー 経の 29 日 相手に食い込むために、 現・ 世間は権力とメディアとの ナリ マージャンやゴルフをしたり [付朝日] れておきたいことが スト池 到 元記者が前 北底、 握りだと小 朝刊 一 一 唾だ例 肯定できな 上彰氏はその <sup>∞</sup>乗すべき光景」 例が5月22日付日 新聞ななめ 東 欄としては 京高 宏氏 検 あ 同 る。 お 検 は 日

> は書く。 ば、 だ。 は、 を引用 か。 狭い部屋で4人が1回打ち切りの 者の振り出しは東京・池袋署クラブだが、 けないことはまずあり得なかっ でレートは点ピンだったはずだ」。 語っている。そのとき金は賭けなか 酒を飲んだりマージャンをしたりした」 昔の記者にとってマージャンは日常茶飯 「こちら特報部」 (やらない人も当然いたが) それも含めて論じるべきではない 自分もやってたんじゃないか。 おそらく二〇 「特報部」 した。 「最後に賭けマージャンをしたの だが、 の 5 月 27 日付 〇七年。 では 大谷氏 私も刑 は5月22 仲間うちば 「デスクメモ」 た。 で、 私の記 金を賭 なーん 茶 0 H たの なら かり か。 付 と が

れ うに言うの 泥と五十歩百歩」の存在。 ャーナリストなどではなく しかない。 ないが、 いない **煌は違法行為で批判は当然。** ただ、 はどうみ だろうが かつての 時代は 居直りと言われるかもし 記者の てもおかしい。 変わり、 あっ たことをな 大半は高尚 時には違法行為 「ヤク 今はそんな記 ザ 私も謝る やコ なジ ょ

ら、マージャン。

あぶれた2人が畳敷きで

花札をしてい

た。

賭けマージャン

な当

時

0

た。

記者クラブのほとんどで行われてい

## □□ナのワクチン争奪戦 公平に供給するための枠組みづくり



在英ジャーナリスト ぎんこ恭子 小林

道だっ

ア 問 ク

ル

た。

キ

ユ

ア

バ

社

領を訪り

スだが、  $\bigcap_{\substack{C \\ V \\ I \\ D}}$ 断を許さない。 しかし、 (都市封鎖) 世 界 ており、 中 感染の第2波発生の危険 -で猛 部 の段階的解除が始まっ の国では感染者・ 威を振るう新型コ 欧州各国でも 新型コロナウイル 19 の予防ワクチンや治 口 死者数 ツ 口 クダウ があり ナウ ス感染症 7 e V が減 1 . る。 ル

9 13 たのは今年3月である。 占 米国 ワクチン開発会社キュアバ 8 るのでは が欧州で開発されたワクチンを ない か」という懸念が広が 米政府がドイツ クを買収しよ

0

の人に公平に行き渡るだろうか。療薬の開発が待たれるところだが、

世

界中

人に公平に行き渡るだろう

学先端研究開 は 府から多額の税金免除措置を受けて ンス内外でひんしゅくを買った。 クチンが実用化された際には のハドソン最高経営責任者が、 5月中旬にはフランスの製薬大手サノフィ たことが発端となっ うとしていると報 も多く受注する権利がある」と述べてフラ 部を提供していたが、 ワクチン開発には米保健福祉省の生物 ない」と発言する事態にまで発展した。 マイヤー 一営トップがトランプ米大統 独経済相が 発局 道され B A R D た報 「ドイツは売り

「米政府が

が 0

最

開発中

ワ

# 世界中でワクチン開 発競

ことが にい が行 に広がっている。 は民間の資金を大量投入して開発を進 ーイツ、 利 世 るの われ 用を国内に限 界 世界中で133のワクチン開 できる国だ。 保 は、 フランスなどい てい 健 機 中 る 関 国のほかには米国、 (6月2日 もし裕福な国 ったり、 Ŵ しかし、 Н 0 ずれも政 製薬会社 時 感染は 0) 点)。 調 がワクチン ベ 府 発 世界 英国 13 が高 最 あ 研 ょ め る 前 線 究 11

> ろうか で販売することを許 0 国 民は後回しになるが、 したりすれ それでよ ば、 貧 11 困 0 だ 国

4

オ

ッ

ク

込みが出てきた。 界に先駆けて開発に成功する国」 クチンの スフォー 筆者が住む英国では、 臨床試験を開始した。 ド大学が欧州 初 0 新型コ 月23日、 英国 になる見 口 が ナ 甪 世 ワ

出することを決めた。 ジ・ロンドンには2250 26 オックスフォード大学に20 で総額8400万ポン ン開発に巨額の投資をしてきた。 億9360万円)、 英政府はこれまで、 を投資し、5月中旬には両大学に追 インペリアル 新型コ (約113億円) 方ポッ 0 口 ナの Ŏ 万ポッ 4月には ( 約 力 ワ クチ 30 を レ (約 億 ツ 拠 加

同時に同

社は仏

た

Ā

が資

金

医

政の

サ

ノフィ

英国 は、 チンの生産・ 今年9月から供 であると発表した。 かけて約10 288億円 5 月 21 日、 ば英政 オックスフォード大学が開発するワク 同 「向けだが、 社は米B 億回! 府の投資総額と比較するとはる 供給を同社が担当し、 英製薬大手アストラゼ ARDAから約12 給開始予定だ。 の投資を受けており、 分の生産能力を持つ見 3億回分は米国向 そのうちの 4 1 億回 億回 来年に け に ネ 分は 分は 通 な L 0)

た。

供 プ大統領が推進するワ かに大き (給を加速させる「ワー 環だ。 米 政 府 0) クチン開 巨 一額投資 プスピー は、 発 K 生 作 トラン 産 戦

ŋ, たりと 中がワクチン開発競争で覇 され 先に走ったり 眼的な国家主義に邪魔される余裕はない 開発に向けた団結を提唱した。 スはすべての と主張した。 なニー 裕福な企業や国 首相などの政治家や大学教授など約20 n (アフリカ連合議長)、 た W 米国 、の連名による書簡は、 5 月 私たちには 市場原理に任せたりする時では Н をはじめとする裕福な国が自 ズよりも自分たちの利益を優 14 H った動きをけん制する書簡となっ 〇の総会に、 南アフリカ スイス・ジュネー 人間の ワクチンや治療へ が、 「寡占、 **ロクチン** 命を救うという 利になるべき」 0) あ ラマポ ひどい る公開 「人々のワクチン」 キスタン 国家主 雑を握 今は 1 ブで 競 書 0) ザ 0) 簡 ろうとし 弘)、米 アクセ ない 怪した 世界的 大 開 力 が であ 最も 近 1 統 提 催 出

# 国際的協働を目指す「アクセラレーター」

公開書簡が懸念するような動きを止める

id-19 断、 国 アクセスを加速させるため、 [際協働 1 際 -ター) 的 月 Tools な仕組 14 H 0) ワクチン プロ Accelerator が発足して 世界規 Z は、 ジェ クト 0) 模 徐 開 での新型 々に整 発 A C Access W 生 11 T ア 産 つつあ コロロ Η 0 ク to 公平 ナの 0) セ Cov-下に る ラ

億円) てい る ファシリティ クチンアライアンス」、 ション連合 む40カ国 て資金集め リンダ・ゲイツ財 「ウェ 口 1 これには、 トナーシップ「感染症流行 、 る。 1 ズ・ を集めた。 バ 『が参加》 5月には欧州 ルファンド)、 ルカム・ 結核 0) CEPI) ウェ 日本が創設に関 Û マラリア対策基金 ブ会議を開催 トラスト」 N I T A I D 引 74 委員会が中 慈善団 医学研究を支援 の他に 国際医療品 などが参加 わっ 対策イノベー 約 体 日 日 た官 「Gavi 8 心となっ 「ビル 本を含 9 世 略 4 民 & ワ す

者、 ブ上で開催された。 ワクチンアライアンスへの チン 月 メ ル 4 ス関 日には 世界ワクチンサ 力 連組 1 英 織の 市 政 世界 52 民 、代表、 府 らが参加 0) ミッ 主 資金集めを目 カ国 民間· 導 ŀ |の政 0) 企業、 下 がウ 治指 総 額 ワ 導 的

> チン利用 う仕組みも設置された 6700万ドル、 ンス・マーケット・コミットメント」 は低所得および中所得の国に住む人にワク 拠出額はホスト国の英国 (約322億円) 日 約2230 本は の機会が与えられるよう 9 5 3 2 0 約608億円 2 1 4 億円) 億 円 0) 年 から 拠 (初回投資額 となった。 出 0) (5年間で16 **5**年 拠出 を発表。 蕳 が約 アド 会議 最 約 東さ は と 3億 5 億 5 大の バ n

した。 ているコロナワクチンの供給につい イ ンスティチュート・ インドの は20億回 展途上国 カ社はオックスフォード 会議 センス契約もしたという。 初日 以 ワクチンメーカー 前に発表した分を含めると、 向けに10億回分を生産すると 分の供給能力を持つことになる。 (6月4日)、 オブ・ 大学と開発を進 英アスト イン 大手セラム・ ディアとラ ラ て、 発表 ゼ 同 発 社 8 ネ

で参加 いてお 肩を並 ンもワクチンを低 地 ワクチン開発でオックスフォ 球的 b, 動きが次第に広がりつつある。 したテド べるインペリアル ワクチン会議に動画 公共の 口 ス事 価で利用できる体制 利としてワクチン 務局長が述べ カレ ッジ・ 「 メ ッ F たよう 大学と セ 口 ンド を築 を

# ここまで進んだケネディ暗殺事件解明

# 名 越 健 郎

拓殖大学海外事情研究所教授 時事通信社〇B



KENNEDY SHOT]

だった。 自殺するが、 ちしてAPを圧倒した。 み、 PI通信の一 スミス記者はその後、 台の電話に飛び付き、 車に乗っていた。 とUPIの記者が同行し、 速報が生命線であることを力説してい 年のケネディ米大統領暗殺事件を伝えるU ャップが女性名物記者のヘレン・ ス記者は銃声を聞くと、 大統領のテキサス州ダラス訪問にはAP その後も電話を離さず速報をつるべ打 は新橋の飲み屋によく若手を集め、 田久保忠衛外信部長 が 1 短 田久保さんは い速報ほど威力を持つ」 9 7 6 報を披露し、 後任のホワイト UPIのネリマン・ 年に 2語の一報を吹き込 時 精神異常を起こして 「史上最も短い 速報競争に疲れ 車に備え付けの 事通信に入社 (杏林大学名誉教 2人は3台後の 通信社にとって ハウス担 <u>ነ</u> と話 ・マス スミ

ていた。

のジョークだろう。 に来た。 会で「宿直室で寝ていたら、 が強烈な印象だったようで、 だった。小松さんも若い頃のケネディ の後任の部長になる故小松修幸氏がデスク 事外信部の していた」と話していたが、 「撃されたのはテキサス時間 ケネディ 『ケネディが撃ったようです』と混 彼は地方から上がってきたば 夜勤は2人体制 日本は真夜中だった。 が オー プン カー 0) 小松さん一流 若手が起こし 退職時の送別 11月22日午後 レート 田 当 久保さん F 暗殺 かり 中 時 乱

誤って散弾銃で友人の顔 シュ (子) 政権時代の2006 が省かれることが多い。 英語のフラッシュや見出. 副大統領が同じテキサス州で狩 だった。 報 Ŕ C Η E N E Y を撃ち、 もっとも、 しでは、 S H 負傷させ В 猟 チ 中、 O T ブッ エ Е 動

> 謀があったと思う米国人は61%で、 版され、 ルドの単独犯行と考える30%を大きく上 た。しかし、 独犯行であり、 陰謀説が飛び交った。 った。米国では、 ヤラップ世論調査では、 とされたリー・ハーベイ・オズワル したウォーレン委員会の報告書は、 ケネディ暗殺事件はいまだに謎であ 依然として未解決のテー 暗殺50年後の2013年のギ 陰謀はなかったと結論付け 関連本が300冊以上出 事件後、 暗殺に組織的 政府 マだ。 オズワ ドの単 が設置 な陰 殺犯 口

# 二つの銃撃現場

0年、 魔をしていた。 レバーを引くイタリ ったオズワルドが、 ワルドが撃ったとされる教科書ビル6階 ルドの単独犯行ではないと確信した。 リー広場を回った。現場を見ると、オズワ レンタカーでダラスに行き、 ースチンのブッシュ選対本部を訪れた際 筆者もワシントンに駐在 現場の道路までは83%で、 に3発発射 大統領選の取材でテキサス州 海兵隊で射撃の 一発撃つたびに手元 動く標的に命中させた 製旧 してい 式ライフル 1泊してデー 成績 街路樹が邪 た 2 0 が悪か 州都 オズ 0

2 人、 が、 スコ ン 手に辻説法をしてい 外旅行者が後を絶たな 統領とコ 周 オズワ マン はおとりにすぎない 元の歴史家は 1 このあたりが真相に近いだろう。 は ンがいた。 、ーリー広場は聖地となり、 後方のビ プは日ウ :書ビ 件 事 ル ナリー 0) 件 K 資料 ル のライフル 本製」 時の 6 やビ ル2階に2人、 知事に命 4 「前方右 階 発が発射され、 まま は たド という説明 デ オを に取り 保 6 中した。 0) ン・ と解 階 存 広場で 駐 さ 軍場 博 ミラー 示。 説 n 物 付 書 これ 3発が大 3発が大 巡礼の きも けら 観 館 0) 7 6 نح 垣 光 階 根に 客相 لح れ あ 0 内 窓

謀説 F らの 根 した8ミリフィ たと証言した。 (以上がグラシー K からはざっ を唱 衝撃で後方に反り返っ 現場にい ラシー たオリ  $\widehat{1}$ フィ えて 9 ・ノー 9 た 90 米 ア 1 と30 写真家ザブルー 社 0 ル 会に ルと呼 ストー ムでも、 • 人のうち、 部 ノ | で、 は 衝撃を与え が 中 実行し ン監督 ル ば 十 央情報 てい から れる右前方の 大統領は前方か 分狙える 警官を含め たとす 報 る。 0 ダ 発 局 1 砲 映 が そ が  $\widehat{C}$ 画 撮影 n あ 距 60 離 垣

映 画 でケビン コスナー 扮するニュ 1

> IJ がは 頭 反 Ź (戦運 すべ リン ター など社会の が ズ ゲート事件 動、 続 0) 黒人公民 11 0 下 地 'n た。 米国 方検事 分断が進 坂 や経 は、 権 が と嘆く んだ。 ベ 運 卜 暗 動 殺 くだり 70 ヒ A 事 で 戦 年代 ッピ 弱 争 後、 b 1 が 11 ウ ア 0) あ 米 化 X 台 国

主党議 たれ、 ない。 ガン革命」 ヒル ガン 府といった法案が次 は 米国 軍 トン・ 事力增強、 大統領暗殺未遂事件だっ ] 重傷を負 就任間もない 復活の契機 員 ガンの 0 が進んだ。 多くも支持に回 ホテル カリスマ的人気を高 規制緩 は、 ながらも が前で狂気 レリ 1 々に 和、 ガン 9 信的 8 口 成立し、 った。 「復した。 減 はワシントン 1 たかも 税、 な白 年3 その 小さな 一人に撃 め、 レ 月  $\mathcal{O}$ 民 結

ステム され、 家である米国では、 安定や統合を左右 軍 -事技術の一 などの イン ワシントン・ 点となっ 現 職 ターネット **松大統領** 技術進歩につながっ 部は冷戦終結 た。 ヒ 狙 するだけ 大統領 ルト やナビゲー 現 場 シ ・ が 0) 後民間に 米国 動 ホ た。 ショ テル デー 向 が  $\mathcal{O}$ 社会 移管 と IJ 人工 ンシ 戦

の2カ

月

前、

オズワルドは

在

エメキシ

コ・

17

年に公開され

た文書の

0

中

は、

事

件

大使館

を訪

れ、

国家保

安委員

会

 $\widehat{K}$ 

G ソ

0)

要員と接触したことを米、

が

してい

た

ォ

ズワ

ル

F メ

が キシコ

ダラ

暗 殺事 件 0) 情 報 公開 は か な n

進

ス

0

ナイ

クラブ経営者、

ヤ

ツ

ル

ビ

88 % 以 それぞれ に全面公開することを決め んでお 係の文書は計約500 米 上は 不議会は ŋ, 国立公文書館で公開され を採択・ 全面的に、 映 画 1 9 J 92 F K 11 万%で、 関連文書を25 %は た。 0 J 陰謀説 部黒塗り これ F 暗殺事件関 K 7 までに 暗 を受け いる。 年 りで 以 殺記 内

## トランプ大統領 が 待っ た

た。 た。 局 延期の理由は不明だが、CIAや連 公表を見送ることができる」 で公開が不適切な場合は、 H 大統領は Ĭ 7 年 F 92年の法律は 残る約300点の公開 る320 ところが解禁され В Ī 常に興 10 「JFKファイル 月に公開 が要請したと報じられ 0点の文書も同 「味深い」 国家安全保障上 が予定され、 たのは とツイ が突然延 0) 大統 法に として 全 2 8 面公開 領 1 0 1 沿 一の理 **週期され** 9 ・ランプ 邦捜 た。 判 して 11 つ 0 て 2 る。 は明 断 由 点 査 で

内容もあった。 広がることを憂慮し BI長官はオズワルド殺害直 に殺害予告の に射殺される前 電話があっ 夜、 F B I など 後、 ダラス事 興 陰謀 バ 味 説が 1 深 務 F

関与説」を書いた。 副領事で、 出した。銃を机の上に置き『護身用だ』と 現れ、他に英語ができる者がいなかったの В 93年にロシアで出版され 核心に迫る文書はなかった。 しまった」と回想してい て落ち着かせた。 いうので、 で私が呼ばれた。 月28日で、その日は館内の ·オズワルドが大使館に現れ (軍参謀本部情報総局) 大会が行われた。 将校の著書 オズワルドが会っ 殺・サボタージュ担当) 『FBIに殺される』と口走 米国の一 弾を取り出し、 『暗殺へのパスポー おかげでゲー オズワルドは オズワルドが領事部に 部メディアは しかし、 た K G B 0) 対抗 水を一 K た同 れたのは 0) 要員 バレー ·僚の コ ムに遅れて В 領 報 イライラ が多く、 杯飲ませ ŋ 対 G ス <u>}</u> 事 K G チコ 元 K G は 63 は 泣き ボー で、 13 R 年 1 フ局 В

にクリントン大統領に提供した暗殺事件に関たことは、ロシアのエリツィン大統領が99年旧ソ連が奇怪なオズワルドに手を焼いてい

者は国立公文書館でそのコピーを入手した。する旧ソ連公文書仰点でも読み取れる。第

# ソ連も暗殺事件に動揺

た。 0) K 請。ミンスクのラジオ工場で働き、 女性と結婚し、 - は謎の 59 元海兵隊員で厚木基地にも このため、 ソ連指導部は慌てたようだ。 人物で、 冷戦下のソ連を旅行し、 暗殺事件後にソ連関 62年に家族と米国 口 シア語を学び、 11 たオ 亡命を申 に戻 公与説が 除隊後 ソ連人 ズワル

と警告した。 だったが、 訴した。 ゆる形の米帝国主義を目撃した」などと直 海兵隊では、 モスクワでソ連最高会議に手紙を書 共産主義者としてソ連市民権を求め 文書によれば、 「市民権を与えな KGBは当初、 オズワルドは自殺を図 日本占領部隊に所属 オズワルドは59年 いとまた自殺 亡命 承認に否定的 ŋ, を 図 10 あら る。 き、月、 通訳

宅を与えても して雇用 年間与えるよう指 外務省とKGBは 央委は白ロシア共和 が、 毎月70 時的 と共産党中 に滞在させ、 十分な人物調 0 ル ] 国 ル ・央委に 気技 雇 の給与を 用と住 査 師と をし

> 件13日 め、 にはなかった。 える」としている。 ている。 が大使館に送ってきた他の手紙とは異 告した。大使は「この手紙は、 る」とし、 し、「手紙はソ連とオズワルドが スクワに送った至急電は、 は大統領暗殺に関与した者が企てたかにみ 示唆。「あらゆる状況証拠から見 イプで打たれ、 係を持ち、 イニン駐米大使が ケネディ暗殺事 オズワルドを使っ 前、 従来は手書きだったが、 ソ連が何らかの目的を遂げるた 大使館に手紙を送ってきたと 明らかに挑発の手紙だ」 明らかに偽造だ」と陰謀を 件の 手紙の現物は公文書館 「最高機密」 4 ている印象を与え  $\bar{\mathsf{H}}$ オズワル 後、 ソ連 オズワル 今回 緊密な関 指 定でモ K 0) と警 手 なっ · が 事 はタ k F

に選別した一部の可能性もある。 各国に持参していた。 は外遊時に旧ソ連機密文書をお土産として 得ないといえるが、当時エリツィン た。これらの文書から、 求めたが、 オズワルドー ソ連は拒否したことも分 家は63年初 提供したの ソ連関与説はあり めにソ連 大統領 移 か 住 厳

# HKがC-A黒幕報送

Ν

オズワルドの不審な行動について、NH

K 未解決 A 黒 幕 説 を 前 は 4 月 事 29 j 5 面に 月 F 2 打ち出 K 日 暗 0) 殺 2 を放 回 12 わ 送 た ŋ C

ŋ ズワル としてい ダラスで独自にセミナー 機密文書や非公開ファイルを入手した Н ド単独犯 Kは米国 の暗殺事件専門家 行説は根 底から覆され -を開 66 催。 人に 接

相に迫った。 patsy ドキュメン 才 ・ズワル はめ 5 K 夕 れ 1) が た 逮 1 捕 と叫 F 0) ・ラマ」 直 んだ謎を追 後、 の手 [I'm just a 法で 11 真

況証拠が描かれ 起源だった」という。 情報を流したとされ、 ワルドを利用しミドリを通じてKGBに偽 「ミドリ」 活動もCIAのお膳立てだったとする レ l 番組によれば、 AはU2偵察機の 0) ホステスでKGBの手先だっ がオズワルド る。 銀座 レー ソ連亡命も、 0) 日本が暗殺事 の愛人だった。 ダー 米 軍 -係だっ · 将 校 向 たオ 帰 け 件 国 キ C た 状後の ズ ヤ

敢行された とウォ ょ Α 番 ジェ て、 ル 0) イク 後半 1 た」とし、 オズワルドを利 は、 工 ム 一スター 1 C 中 ア 心人物とし Α ライン西半球局長 用しながら ダラス局 0) 部 長 0) 暗 暴 の2人 С 殺が 発

> は何 番組で「真実の た元CIA高官の ケースオフィ かを失う」と強調した。 サー 探求から逃げ П を挙げ ルフ・ た。 ラー れ これ ば、 セ ン氏 を告 0 国は

とから恨みを持っていたという。 官らを更迭、 ディが最終段階で攻撃を停止し、 侵攻のピックス湾事件の責任者で、 貧困の中で育ち、 エ スターラインは失敗に終わ C I A解 共産主義に傾倒 体も検討 して 0 C たキ e V たこ Ā 長 ケネ ユ ソ ]

でやるかと敬服した。

でやるかと敬服した。

ないう見立てで、中立公正のNHKがここまとりに格好の人物だった。「暗せ掛けるおとりに格好の人物だった。「暗連亡命までしたオズワルドは、単独犯に見運の中で育ち、共産主義に傾倒し、ソ

で出 スオ 事実関係と演技の境目が曖昧で、 るはずもなく、 迫力がある。 野望を描いた映画 舌足らずで、CIAや軍 ない。 オズワルドとミド ただし、 フィ 内 ]容も明 動機がケネディ サー 暗殺の実行部隊には ドラマ 確ではなか 関 写説 フィ リの J F K クションにすぎな 化を重視している Ł 密室会話 ^ った。 の恨みと 米国 産複合体の の推 0) 2 人 の 言及 ネ などつか 文書 いう 論 して ŀ 0 壮 ケー が、 大な 情 0) 方 0 出 が 11

書がいつ解禁されるかにあろう。大統領が公開を拒否した300点の機密文下統領が公開を拒否した300点の機密文

共同通信OBの春名幹男・元名古屋大学報復を受ける恐れがある」と説明した。ながる情報が多い。密告者が存命の場合、供者とその役割、外国の協力者の特定につ供者とそのでは、外国の協力者の特定について、「捜査時の情報提

教授は 常時監視しながら、 可能性がある― クレット・サービスに通報してい があった②CIAやFBIはオズワル を進めており、 CIAはキューバのカストロ なっている」とし、 キューバが絡んだ新事実が次々に明らかに 月6日)で、 共同通信OBの春名幹男・元名古屋大学 「フォー 過去25年間 情報源などを秘匿する必要 サイト」(電子版、 と書いた。 ①ケネディ暗殺当 大統領を警護するシー の情報 首相暗殺計 いなかっ 公開 17 バドを 年 11 で、 た 画

とさめた見方をしている。

あれば、とっくに廃棄されているだろう」は「もし核心部分を暴露するような資料がが、バージニア大学のラリー・サバト教授が、バージニア大学のラリー・サバト教授が、バージニア大学のラリー・サバト教授

暗殺事件の謎は永遠に残るかもしれない。結局、文書の全面公開によっても、ケネデ

人男性ジョー

フロイド氏が、

白

## 運動が加速度的広がり 米メディアも対応



ーヨーク在住 ーナリスト 津山 惠子

警官に首を8分

46

秘

8

圧

迫され

て

死亡し

が起きたの

は、

5 月 25 日。

直

後にミネ

今年5月 ライブス・マター 下 旬 から急速に広がっ 、 以 下 B L た  $\underbrace{\overline{M}}_{\underline{}}$ ーブ

は、かり と発表するなど、 運 持する広告を打ち、 まって数週間で、 F. 夕州で起きた白人警官による黒人男性暴行 ッ 見直 、事件をきっかけに始まった運動だが、 **一続く見通しになってきた。** 動によるデモは6月下 を見せてい イメディ しを表明 ア業界でも起きている。 る。 運動は政治的・ 政府や自治体が警察の 黒人をさらに 企業が次々に運 運 動 旬現在、 同 中 調 西 する |部ミネ 経 雇 1 カ月 用 動 済 する を支 動 的 規始

# 従来のデモと大きく相違

米隅々に、そして世界各地にも飛び火した。

ソタ州で起きたデモ

は、

あっという間

13

ろに向っ 的に起きてい ントを探 ンスタグラムで つけるのは、 過去のデモ ニューヨ ったキーワー 筆 一者は、 デモは かう。 1 との 1日に市内 ク 6 る。 場 ドでデモ インスタ 市 月 所や時 違 「ジョ 内 1 デモが 11 H で起きたデモを取 K から計る の情報 グラムし 20 間 1 毎度驚かされ ・ジに正 カ所 行 0 都 われる場所を見 気ほど同時 があるアカウ 合 口 かな が 義を」と 13 (V わ 時多 た。 i V た 材 とこ 1 発 ま

らい 齢層だ。 ても、 してきたが、 った感じだ。 庄 0 到 1 9 8 0 倒的に多く、 着してまず驚くの 0 た市民運動団 規 ジェ 制、 2010年代生まれ) ビー ネレーション乙 戦争反対 2 0 0 0 ・ブー 従 デモは数 来は組 年齢が上でも 体 7 が呼び は、 1 などどんなデモに行 年代初 合やム ぐえ切 米国 デモ 掛 n (Z世 とミレニア 一では戦 1 け、 30 頭 参 な 生まれ 代前半 ブ・ 加 61 ほど取 代、 者 オン 候  $\mathcal{O}$ 2 年

11 が ル 0

> ら 1 では黒人だけがデモに参加し、 となっている。 だ。若者が段ボールや色紙に自分で書 で大量に作った色刷りのプラカード デモを見つけられないでいる可能性もある。 ゲリラ的なデモ情報の発信が障害となり、 はほとんど皆無。インスタグラムを使 人が中心ではあるが、 手製プラカードだけだ。 また、 ヨークでは黒人居住区ハー 従来のデモでは見られた印 96 方、 4 組合や団体 В 年 L 生 1 9 6 0 まれ) Μ デモではべ が組織し 半数以 0) また人種構成も黒 白髮頭 年代の公民権 レ ビー 上は主に白 ていない 引刷ショ が中 ムだけでデ しかもニ ・ブー も皆 心 ツ だ マー 運 11 た ユ プ た た つ 動 人

警官が数人といった少人数の態勢だっ されているが、 週間ほどで消え、 本部などに近づくと、 極めて平和的なものだ。 行為が行われてい 5月下旬は夜間にデモに乗じて店舗 バイク警官が先頭に数 主催者が呼 拳を振り上げるポー 対鎖 している交差点などに近づく 筆者が参加した3回 が掛け 現在行われ た。 多くの て参加者全員がひざ ニュ だが暴力行為は 入と一 機動隊 てい 1 ズを何度も繰 日 るデモ 緒 ゥ 0 が ?配置 市警 デモ 0 は 破 1

モが行われ

ていたのとは大きな違い

n に 11 、ると、 .無言で立つという平和的なもの 返す。 警察官に怒鳴っ ボランティアがさっと現 たりする 参 れ 加 て、 者 間 が

団体は、 ジー は、 た。 んでい をクイズ形式で伝えた。 策の改善を目指すものだ。 う啓蒙することで、 3人に話を聞くと、 团  $\mathcal{O}$ 8 ク市議会議員の数や過半 0 反対するだけでなく、 体が主催し、 命 6 具体的な目的がある 演説や行進の音頭を取ってい 参加者を路上に座らせて、 0) ・フォー・ブラック・ライブス 月 ため たトランプタワー 12日に取材したデモは、 若者に対して選挙に投票に行くよ 0) )戦略)] 以前はト 全員が23歳だった。 人種差別に関係する という若者が中 つまり、 数がもつ意味など 団体だっ 自治体を 0) ランプ大統 が前で行 行 ニュー 進 ースト 、 た 主 0) 進を始 た。 動かすた 人種差別 最 領が 無 後に 催者 j 心 ラ 政 同 住の

責される特権 削 で被害者から提 民主 冷訓 など大都市の市 こうした中、 ラド州 練を見 は 6 直す方針を打ち出 条項を廃 のジャレッド・ 月 20 日、 派訴され ニューヨークやロサン 長がいち早く、 た際、 止 警察官 する法 ポリ 刑 が暴力など 事 L 警察の規 え州 た。 裁判で免 改 近に署 知事 中 귪

В

どの 着する体質が根深い 政 スピードで警察改 治家が票を得るために、 米国にあ 革 が進んでい って、 地 元警 察と 癒 ほ

連は、 てい は、 アル か 10 きで「BLM」と表示されたものに B L ニューヨークの観光名所タイムズスクエア 3分の1ほどが、 雇用を増やすための巨額の投資を発表した。 ップルなどは、  $\widehat{6}$ 月4日取材時点)。 方、 日後 を 大手企業の電光看板で有名だが、 ていたコカコーラは、 Μ 相当意識してい デモに参加している2世代やミレニ をサ 企業の フロ のことである。 ポート イド氏が殺害され 動きも速 黒人を中心とした非白 看板を真っ黒にするなど する広告に切り るの 真っ赤な広告で目を もちろん消費財 は 黒 グー 間 い画 違い たてから グル 面 が替えた ない。 に自 変 その わ わ 人の P 関 ず 抜 0

# 取 材の中心テーマに

ニュ 治ニュ に、 ところさえある。 ク こうした中、 L Μ チ スレ 材の中心テーマに据えると表明 運 1 ユ 動の ス専門 ラ ター ル 報道には メディ で、 サ レ A X Ź 1 構造的 卜 i 力を入れ ア業界も例外 ズ A x i 4 S 人種差別 は 6 月 19 に 0 てい S つ 11 0 る。 なく (スト した よう て、 H 政

ラ

他 いくからだ」 長期にわたり、 うと、これらのテーマは、 資本主義、 ナリストの ホ  $\begin{array}{c} 2 \\ 0 \\ 2 \\ 0 \end{array}$ の柱は、 ワイト 今年11月の大統領選挙で誰が勝利しよ A 一つの i o s 年 気候変 マイク・アレンは、こう書い 柱にしていくと表明した。 ウス 中 0 国 問 創業者の 私たちの Þ 動、 題 人口 大統 オートメーション 0) 動 領 1人で政治ジャー 生活を形づくって 態、 つに 選 学 時的ではなく 偽情報 取 0) 取 ŋ 材 上 など その げ、 た。 化 際

受け入れた最後の州。 戦った南部連合のうち、 最 開くところは少なかったが、 かったため、テキサス州以 年4月に終結してい 上げられた日であり、 月19日、テキサス州で奴隷解放宣言が読 ユ ーンティーンス」 ンスを祝った。 6 月 19 日 全米でデモが開かれ、 は、 米国 だった。 た。 0) 南北戦 奴 奴 緑制 同州 緑解 国民の祝日 外でイベントを 維持の 争 は奴 ジ В 1 8 6 5 放記念日 子は 1 8 LM運動 ユ **冷隷解** 1 ため では ティ 6 5 放 な を 0) み

性も増してい ようとする動きを目の当たりにすると、 0 このような急速な人種差別 大統領 選挙にも大きな影響がある可 問 題 を解 決 11 L 能

## メディア談話室

### 事長賭け麻雀は 3倍満」 級スキャ ンダル



元共同通信社社会部長 井内 康文

件であ 大審院 きな事件があった。 様 決で同院長は司法の独立を守り 太子が現職警官に襲撃された大津 に スキャンダルだ。 に就任目前だった。 長が賭けマージャンで失脚した。 ジャン 検察ナンバー2の黒川弘務東京高検検 「司法官弄花事件」 と称えられ った。 長が辞職 的 これらの大事件を引き起こす花 評 来日中 価をす ていた。 してい 129年前、 ニュ れば のロシアのニコ 1 8 9 1 に連座した児島惟謙 (1891 (明治25)年 た。 それが告 ースバリュ 「3倍 「役満」 満 発され 護 れより 検事 事 ーライ 1 法 級 級 でマ 総長 0 0 0 0) 事 大

中

もう一方はコロ

ナ禍の緊急事態宣

いずれも内部告発で発

賭けマージャン。

司法官が主役。

方は重大裁判事件で出

高

両

事件には共通

点がある

る。

今で言

裁長官と東

京高検

検事

長という最

高 えば

位

札やマージャン

0)

魔

力とは

何

か。

覚、

新聞や週刊誌の報道が先行

であ

る。

## 大津事件

ヤン

が

あれば児島院長らは当然、

花札でな

マー

くてマージャンだっただろう。

た。

盛んになったのは大正末期

マージャンはまだ伝わってい

なかっ

定されなかった。

なぜ花札か、

と言えば、

この弄花事件は、

懲戒裁判で賭博とは

賀県巡· 浅かった。 法廷を開くことにした。 担当する」 ベルで切り付けられた皇太子の傷は幸 90 年5月11 査津 と決定し大津 児島院長らは 田三蔵がロ皇太子を襲 H 大津 市で沿道警衛中 市に出 「大審院が事件 張、 0 た。 異 例  $\mathcal{O}$ を # 0 滋 13

取ら 報復 に迫った。 可 当時の松方正義内閣 を得て を極度に恐れ れるのではない 刑法第116条の 死刑判決を下せ」 た。 か 閣議決定の は などとロ 北 海 皇室に対 と児島院 道 ・シア側 を賠 上 償 奏

> 相らは 官は、 元老は るで「必殺仕事人」だ。 死に見せかけよう」 方法を、 でさかのぼって適用して死刑の宣告をする る罪」を拡大解釈 というのだ。 戒厳令を発布し、 「恥を知れ」 「金で刺客を雇って犯人を殺 内閣に提案した。 元老の して外国 と峻拒したとい と持ち掛けたが、 これ 伊 陸奥宗光農商 藤博文宮中 [皇室にも適 を事 . う。 <u>:</u>当 して病 顧問 伊 H 用 ま 藤 務 ま せ

公判は記者24人が傍聴を許された。 徒刑の判決を下した。 般刑法の 人廷禁止。 1時から公判を開始。 大審院は政府の要求を蹴っ 「通常謀殺未遂罪」を適用、 午後6時半から この 記者団の抗議 時、 の判決公判 た。 新聞 17 記者は 日 判 無 で 午後 期 決

り司 様 権威は失墜した。 ら軍艦でウラジオストクに向け出 ねて自ら同艦に赴き会食した。 口皇太子は予定を変更。 とまで称揚された。 法権 明治天皇はその前に謝罪と見舞 0) 独立を守っ 児島院長は、 た、 19日に神 لح 時の 名判 護 決によ 法 政 発 13 戸 した を兼 0) 港 権 神 0) か

# 弄花事 件は役満以上

ところが児島院長らは大津出張中には宿 その前後も官舎や料亭で花札賭博を

してい た。 る。 ると、 事も参加していたという。 面下で関わっていたことが判決後に分かっ と磯部四郎検事=5月7日辞職= 東京通信社の記者や検事らが告発に水 告発したのは大審院児玉淳 た、 と内部告発され 当時 た。 東京で 0) = らとされ 新聞によ 一郎判 は 検

央電報社など通信社の配 らに対し事情聴取を始め、 斉に記事を掲載した。 告発を受ける月 末に警視庁 信で都 4 が 月28日には中 内 料 亭の 0 新 聞が 女将

ら望んだ。 懲戒裁判所に申し立てることを命じ 可 を迫られた。 由 を得た後、 に拒否。 」と主張、 児島院長らは田中不二麿司 判事懲戒法による懲戒裁判を自 田 裁判官の独立=身分保障を理 松岡康毅検事総長に大審院 中司法相は閣議を経て上奏裁 しかし「金銭は 法 賭けてい 相 から 辞 職

た。 7 月 12 日、 をした証拠はない」として免訴を言い 6 月 27 日、 懲戒裁判所は 裁判は非公開で開始され 「金銭を賭け賭博 渡し た。

る。 13 D なる。 弄花事件をマージャンで計算すると役 残り6判事を各1翻として計9翻。 が2翻付くから既に計 まず児島院長だけで3翻に値す 11 翻 で軽 場

0

検事長

は自らの

人事につ

r V

て下馬 立ねてい

た

では彼らは何のために対局を重

ジャ 満。 職 これに加え①大津事件で出 !報道が先行④懲戒裁判で免訴⑤引責辞 ン②内部告発で発覚③通 Ö) 5翻ある。 悠々と役満完成である。 信社 張 の取 中に 材で 7 ]

# 検事長賭け マージャンは3倍満

ずオンラインで予告、 長は接待賭けマージャン常習犯」 真付きの長文スクープ記事を5月19 週 |刊文春は今年5月 21日に発売した。 28日号の 「黒川 という写 Ħ 検 ま 事

平だが 道で参戦しないのか、 通信社もなぜか匿名追従。 検事長は実名なのに、 「文春砲」 のさく裂である。 できないのか、 3人は匿名。 どうして実名報 新聞 不公 不思 P

朝日 長は2翻、 この事件をマージャン計算すると、 場の2ゾロを加えて7翻で満貫 の現、 産経新聞 元司法担当記者ら3人で (以下、 新聞は略) 計 検 لح 事 5

だの での や週 3倍満となる。 それに①コロナ禍対応の緊急事態宣言 刊誌の報道が先行④懲戒処分でなくた 計4回の対局②内部告発で発覚③新聞 「訓告」 ⑤引責辞職―を足すと12 翻 下

に振り込む、 破壊するというバーチャル 作りという創造と建設、 0) n 喜悦があるからだ。 か。 が魔力なのだ。 黒川氏はマージャンになぜのめり込んだ 被取材・取材という現実を離 みじめ な破 逆に肝心なときに相手 そして相が 滅 も味わえる。

者側は当然、 や庁内情勢などの参考情報を聞きた 事件の取材である。 11 記

当然、 離れていたが、 た。この時、 検特捜部が逮捕」との大特ダネを配 がデジタルで「日 2018年11月 逮捕予定を知っていただろう。 朝日のマージャン組は現場を 黒川氏は法務省事 産のゴーン会長を東京地 19日午後5時すぎ、 務次 信し 官 朝

時刻も連行場所もなかった。 羽田到着を午後4時35分としたが、 朝日はゴ会長のプライベートジェット 逮捕

会長の) 捕した、と書いた。 報源は推察されよう。 いた。いずれも発表はなかった。これで情 ろ到着とし、入国手続きを済ませた後で逮 ところが11月30日付産経は午後3時半ご 報酬覚書 秘書室長が保管」と抜 12月1日付では

# マージャンの魔力

な二重の本能的 手の手を れ 役 そ

5

通することになった。

岩永の

養父が

てた家は31年に目

|黒雅叙|

園に売却され

たちの活躍

Ļ

聯

合には

金はなく、

岩永裕吉の

私財

の以

(上の負担はかけないと言質を与えてい

で、

超

過分は聯合の負担となっ

L

が、

その経費は膨大な額に上り、

予算をは

合は報道で成果を上げることができた

るかに超過した。

新聞8社には

月

3

0

円



蔵、 二一をキャップとして36人が出張した。 衣城 を中心に前後1カ月にわたった。 道を繰り広げた。 なかに成立した田中義一 即位の大典の報道であった。 都日日新聞社内に臨時出 大々的に力を入れ 928年11月に京都で行われた昭和天皇 通 地方新聞の絶大な信 政 、内信局長を総帥に宮廷関係長・ 信 治関係· 社 史 によると、 大平安孝、 儀式は た。 新聞各社も 内閣は、 11月10 用を 張所を設け、 聯 社会関係 博し 合 金融恐慌 0 H 聯合は京 たの 声 0 御大典に 派手な報 即 価 林 徳光 のさ 岡 位 は を 密 上

## 聯合を退社 大毎社会部 長に

退社は、 兼任となった。 聞かなかった。 出 動を共にした。 務局長の かという不安を引き起こした。 達源 向いてとどまるよう説得したが、 営方針をめぐって岩永と理 一郎が対立し、 座間勝平が退陣すると、 内信の縮小をもたらすの 内信局長は古野外 内信の中心であった徳 古野伊之助は 29年3月、 夜、 では 信局 徳光も行 伊 徳光宅へ 兼 徳光は 達と総 顧 な 光 長 問 0  $\mathcal{O}$ 

賀知 光が会談し、 員 警視庁キャップの岡野敏成や重 光は朝日の社会部長になるはずであ の か 友人である朝日の原田譲二の引きで、 温、 この 動 れて29年7月、 大阪毎日の城戸 揺が広がっ 時、 今泉軍次らを引き抜 45歳であ た。 三の例外を除き、 元亮主幹に三顧 大毎社会部長に就 このため、 つ た。 徳光が聯合 11 たため、 松政 古 聯合 野と 0 敏 った 任 礼 徳 社 大 0) L で

> 漸く興味と国家的意義を感じだしてい ことで事態は落ち着い ら引き抜 から誘われたが、 信を縮小することは断じてない 東京にとどまった」。 きはしないことで合意。 岡村は 「通信社の 岡村 と言明 古 仕事に も徳光 野 する たの が 内

ら毎日と朝日が極めて強く、 がれた太い声で采配を振るう姿は異彩を放 編集局のど真ん中に仁王立ちになり、 うな、下顎がぐっと張り出した精悍な赤黒 だって採用するさ」 派手に書きまくる社会面の気風を徳光とス 東京の記者には渡り職人的な気風が強く、 歩く習慣は育ちにくかった。これに対して、 9 11 新聞記者として使える男なら、 い。品行が悪いことは大したことはな カウトされてきた記者は大阪に持ち込んだ (『記者たちの森 顏。 った時期であった。 大毎社会部長時代は徳光が最も脂 合艦隊」と呼ばれた。 学校なんかどこを出たってかまわ 戸は 徳光が引き抜いてきた記者の 油っ気のない長髪をかき上げなが 「新聞記者として実力のある男な 「傭き 大毎社会部100年史』)。 と極端なまでに実力を いかにも意志の 大阪は明治期 新聞社を渡 オレ は泥棒 が 強そ 乗り L な n か は ゃ

徳光時代の 紙を恐れしめ 大毎 た。 0) 社 会面 は 活 気に 満 ち、 他

を付けてデスクに出した。 ていた徳光は、 表現には非常に厳しかった。 、メだ」と一喝した。 治がある日、 は 長の管轄であった。 社会面 の編 小さな記事に小さな見出し キミ、 集は こんな見出しで 整理 そばでそれを見 徳光は見 新人の 部 で は 大和田 出 なく、 し O

形、 る。 けではダメだ。 で練らねばいかん」 一つの記事には一つの見出 キミ、 姿だ。小さな見出しほどむず 音とはことばの 見出しというもの 見出しには音色が大切であ 響き、 ししかない 調 はただ正 子。 かし 色とは 積 0 確 だ

して、 聞の上にしゃがみこんで順に見ていく。 覚めると、 社 りつけ、 は 元の電話機をとって社会部の宿直を呼び 出社した。 1いておくことから始まった。 会面の頁を広げ、 徳光家の朝は夫人が、 落とした記事や間 ある 歯ブラシを口に当てながら、 e V は 指 歯ブラシと歯 示する。 違い 夫の につい 9 枕元に各 徳光は 時半までに 密磨き粉 て怒鳴 目 紙 枕 新 出 が 0

方7時ごろになるとデスクから姿を消 9 時ごろどこからか電話 を掛け てき

> 時すぎに社に現れ、 て、 て、 午前1時ごろに帰宅した。 他 社の 特ダネなどを知らせてくる。 市内版まで 大 組 み をみ 10

る。 行ってみると、 問すると、 聞の鬼」ぶりを示すエピソードを記 グを着たような格好で頬杖をつ 徳光が社会部長席にガマガエル 社会部員だった高木健夫は、 高木が32年の元日に芦屋の徳光宅を訪 社へ出掛けているという。 誰もいない薄暗 い編集 e V が 徳光 モー 7 して 11 0) た。 局で

月、

「犯意なし」として釈放された。 警視庁外事課に拘束された。

1

カ月後

一今日は何かあるんですか

れない」 始していた。 「うむ、 関東軍は年末に錦州 錦州陥落の第1報が入るか への進撃を開 もし

ん、入ったらすぐに号外だ まだ大丈夫でしょう」「 11 や、 わ か 5

人は、 必ずもう 徳光は大朝入りを拒否した。 に追い込まれた。 金之助、 て大毎をぶっ潰しましょう」と言った 社内抗争で会長の城戸元亮が 高木健夫や石川輝は 大阪朝日は徳光らを入社させようとし 事件の余波で47人の記者が社 たとえどこにいようとも馳せ参じて 高 度旗揚げする。 石川の手を握っ 徳光は城戸に殉 「大朝で大暴れし そのとき君 徳光は佐 33 て、 年、 を去っ にて退 たが、 i ら 3 一々木 退 陣

> 逮捕された事件に関連して、 に軍機に触れる情報を渡したとして36年に 東方通信記者でナウカ社の社長をしてい 僕を男にしてくれ」 大竹博吉と座間勝平がソ連 京都日日新聞 光はその 後、 編 ||集局| と言って別れ 央 新 長 聞 大使館情報部長 に就任する。 徳光は 編 集局 た。 1 翌年 1 長 を

た

元 経

## 東 亜新報社 長

まれ、 の川口 受けて、 名前はその最後にあった。 あった。 日日新聞と北京新聞の二つの日本語 亜新報の創刊を計画した。北京には新支那 北の日本語新聞を統合した軍機関! 戸元亮ら5人を推薦してきた。 社長として適当な人物を推薦するように頼 木健児が中心になって動いた。 つい H 中戦争が 佐 清健報道部長に対して、 て協議するために北京へ飛んだ。 長 それに決まった。39年2月、 同盟北支総局華文部長だった佐 同盟通信常務の古野伊之助の意を の岩永裕吉と徳光は東亜新報発行 々木は古野に連絡した。 始まると、 北支軍報道 佐々木は北支軍 北支軍から 徳光を強く 徳光衣城 古野は城 新 新聞 部 同 は 東 東 華 0) Þ が

は北京東4 亜 に 新報 は 城 39 年7 銭 糧 胡 月2日に 同 0) 湯 創 玉 刊され 麟 種 軍 た。 0) 邸 宅 本

野秀介は、 健夫、 知り合った。 光の大毎社会部時代の門下 が ことに徳光は抵抗はなかったの 会議を東方通信記者として取材 った高木富五郎は、 読売新聞を辞めて参加した。 院は厳 :総務局長に就任した。 務部長の大川幸之助 軍の機関紙、 佐 編集局長は佐々木金之助、 々木健児は 編集総務には石川輝がなった。 しかった。 天津支社総務部長におさまった。 徳光を新聞界に引き入れた羽 国策新聞の社長に就任する 監査役に 徳光はいつも 米国滞在中にワシントン が副 なっ 編集関係では、 生たちが参集し 社 論説委員にな か。 主 ひ 後に 筆は高木 座 軍の検 つつくく 徳光と 3 間 勝 同 平

人物でもあった。 徳光は社で時々句会を 北京で発行され た句 開 春れ 7 聯がた た。 0) 中心 占

と言ってい

だめなら、

みんな3等で東京

へ帰ろう

光に会い 年8月11 に来て、 日の夜更け、 H 本が降伏 同盟 0) 総局 たことを 長

> られ 告げ 部 殉じなくてならぬ日にめぐり会ったのだ」 H 木金之助、 るかは別にして、 社 報 口 は 員 た。 天皇の た。 イド2頁の新聞であった。 涙の解散式を挙げた。 東亜新報を接収し、 を集めて、 日文版の編集局とした。 投後の肚を決っ 翌朝、 高木は中国語版の翻訳 高木健夫ら十数人が留用を命 「玉音」 徳光 「それを招い われわれは国 放 8 は 災送を聞 るように 社 その機関紙、 0) 国民党中 主要な幹 た者が誰 徳光、 た徳光 をし 家の運命に 0 -央宣伝 た。 た。 佐 であ は、 華 を 夕 ぜ 15 集 Þ

月 25 日、 迎えた徳光は、 追 4 月、 之助は後に巨人軍代表になる。 53年11月4日、 を感じていたようであっ 「三十六峰」 編集手帳」を17年間執筆した。 . 策新聞である東亜新報社長として敗戦 した新大阪新聞の顧問になっ 高 解除後は毎日新聞が夕刊の代 木は帰国 京都 京都新聞編集局参与として夕刊コラム 北京から引き揚げて京都に住 0) 徳光と親交のあった人たちによっ 北野 を執筆した。 後、 69才で亡くなっ 彼なりに言論上 天満宮で徳光 読売に戻り、 たという。 高木によると、 徳光は の戦 旬 朝 た。 佐 わり 刊 徳光 争責 |々木 70 んだ。 0) コ に創 そ 46 ラ 年 4

事でやられるならば金鵄勲章みたいなものられるならひっくくられろ。新聞記者が記

式が行わ ゆ 外套を肩 ふづつやこぼ n た。 に新聞 記者か れ てあをき花槐 る



北野天満宮にある徳光衣城の句 碑(写真提供 徳光正子氏)

は、 句。 を書きに上がってくる記者の 表に 夕方、 高木はこの句 ゆふづつ 刻まれた最 外勤を終わって、 は金星のこと。 が好きであるとい 初 0) 旬 は 北 災姿を詠 編集局 京 で詠 裏 う。 んだも 面 原 ん 0 (完) 旬 だ

参考文献

ぼえがき』、 「時論」( 『新聞太平記』、 じゅうたん五十年』、 0) 高木健夫『新聞記者 旗の下に』、 『新聞· (1948年3月号― 々木健児』、 徳光孝 人 徳光衣城』、 『通信社史 伊藤正徳 『古野 『花のそと』、 太田宇之助 3伊之助] 代記」、 1 9 5 0 「新 『東亜 聞 御 手洗辰 福 <u>Ŧ</u>. 新 報 十年 生 田 お

#### No.703

# 103 は 么

時事通信社サンパウロ支局長 市 Ш

色で、 ぶりについて書こうと思っていた。 策をめぐる矛盾や政 1月からこのかたメディアは新型コロ 問題以外のことに。 当初 読者諸氏は食傷していると思 はブラジルの新型 権、 自治体の右往左往 コ 口 ナウイルス対 しかし ナ

なかっ まり書き込め 社命でなければ一生足を踏み入れることは 目 米諸国を訪れる機会はないと思う。 ブラジルについ た。 読者諸氏のほとんどは遠いブラジル 国民感情を読み物風につづり さらに17年6月に2度目の たはずだが、 通算で満7年。 知る限り最長となった。 ない新たな動 て普段のニュース出稿であ 2004年4月に1 日本メディ き、 派遣と相成 暮らしぶ たい。 アの記者 筆者も そこで や南 度

### サ は貧困 層 限 定

ツカー ´ラジ ルと言えば 大国」 治安が劣悪 「サンバとボサ 「陽気だが バ

> 鏡を掛け、 たところが一般的イメージか。 れは海外で信じられている「七三分けで眼 0 というステレオタイプの日本人と同じ 加減な国民性で、 想 元凶 いつもお辞儀をして礼儀正 亮 太 美女が多 しかし、 とい L 0

> > などの米黒人系音楽は、

サンバの愛好

わいな踊りと歌詞を伴う

「ファン ラッ クラ ガル み、

13

13

る。 種の音楽であり、 アベ ていそうな白人は皆無 れるサンバチーム) よく知られるサンバだが、 ーラ いろんなエスコーラ (貧民街) 愛好する層は限られ ないが正しくもな に暮らす黒人や混 を巡ったが、 (数千人で構 基本的に 金を 成 は 7 血

間違ってはい

きな欧州系ブラジル 認識しており、 なんぞ」と驚かれることがあ ブラジル人はサンバを や派生ジャン 筆者は打楽器隊に加わったことも 心底嫌そうな顔をする ブラジル人から「何で日本人がサン 好んで聴かな ル 0) 人の妻は、 ゴ 「貧困層の音 ージを聴 (音楽 9 筆者が、 た。 口 0) ている ック好 楽\_ サン あ 般 لح 0)

> シックやオペラも好んでいるようだ。 の植民地だったこともあり、 若者は世界共通でロック好き。 なのかどうかは定かでない 間層以上は主に と呼ばれるポピュラー \_ М Р В 音楽を好 富裕層は Î ポルト -------------



今年のリオのカーニバル (2月23日、筆者撮影)



今年のリオのカーニバル(2月23日、筆者撮影)

外に脱出というの と喧 過ごし方だ。 騒を嫌 よそから 専 -間層以 用 競 技 上の Ŕ 場) 国内のビーチリ 0 が 市 を てきた観 民 埋 般 は め 的 通りに漂う小 7 なカー 光客 踊 ŋ ゾー が 明 ほ か バ 1 とん ル や 便 す 期 海 臭

No.703

いうジ

ヤン

ルは現

在 M P

Bに取り

込まれ

7

層と重な

なって

いる。

ちなみに、

ボ

サ

バ

ン

席は金持ちやテレビタレ 戦できるのはカネに余裕のあ 社交場と化している。 鑑賞するのみ。 0) サンバ愛好家にとって憧 て雰囲気を味わうか、 主役のはずの貧困層は柵の外で音だけ 精鋭エスコーラによるパ カマロッチと呼ばれる特等 ントなどセ テレ n 0) る人ば ビ生放送で サン 1 F レブ ボ か K 観 口

摘発された)。 れて満面の笑みを浮かべるサッ 今年のリオの会場では、 (9日後にパ ースター、 ラグアイで偽造旅券所持 ロナウジーニョ 美男美女に囲 カー 0) 姿が 0) あ 元 ス つ

に1度だけ 前年の6月ごろから少 人れ込みようは大変なもので、 して華麗な衣装や山 方、 で無視され りの制作に取り掛かる。 ファ 主役となる数日間。 ベ る存在である彼 1 ラの な 住 オリジナル 人は本番に 収入をや 普段は らが 当 熱気はも 『然なが h 0) 向 音 1 会 け、 年の

> ちするという事 過去にはライ 件も起きてい ル 0 山 車 を き

討

量に流入しているもようだ。 を牛耳る麻薬密売組織の /オでは<sub>2</sub> 足りない資金を補うためファベ 最近、 市の 補助 汚 が打ち切ら カネ」 が 1 n 大 ラ 7

り上げに一役買ってい リオには日本のエスコーラから腕に自 ある踊り子が参加し、 ーニバルの功績だ。 こし」の一 ニバルには大勢の日本人駐在員 ちなみに、 これはひとえに、 サンバ人口はブラジルを 環として始まった浅草サン 日本人の 毎年、 . る。 南米最 1981年に サン サンパ バ 大の 好きは 除 い祭典 ウロ (や家 世 街 バ 有 0 信 族  $\mathcal{O}$ 力 盛 界 0 力

時には には出 あり、 掘し、下部チームで育ててふるい とは疑いない。ただ、どこの街角でも子ど る危険があるため、 で張り巡らせたスカウト網で幼い え切れないほどの数のプロチー もたちがボールを蹴っている、 子供を一人で外 ッカーについては くわしたことがない。 ブラジル国民統合の象徴」 ″売る″ という方式が定着 ほとんど戸 で遊ばせると誘拐され 一ブラジル 基本的には数 という光景 ムが隅 才能 0) であるこ 象徴 L か 7 にばせ け、 を発 々ま 61

ウロ

サ

ポー

ター

間

0)

仲は悪く、

特にサンパ

よりどころとしている面も否めないと

うより自身のアイデンティ

テ 1 をろくに知らないファンも多く、

競技

好 ル

ちなみに、

筆者はブラジル代表の試合は

別

突が殺人に発展することもまれではない

コリンチャンスとパウメイラスは



圭佑選手の入団を歓迎するリオのサッカ ークラブ「ボタフォ のサポーター (今年2月7日、筆者撮影)

ラジル として、 は スピ る クラブレベ F 感に欠けてつまらな ルでは欧州と比 ベ てブ

な

というの

が悲し

い現

ほとんどの国

民 がひ

いきチー 完実だ。

を持

つ

敗に一

喜一

憂する。

ル

1 が

#### 筆 者 ū 6 度 の 強盗 被

率が日本 万3194人。 年の殺人 東アジアや欧米に比べると格段に高 無差別テロに巻き込まれるという心配 4倍に上る計算となる。 改善はしているものの、 で は、 72人に上る。 -東や最近 窃盗や強盗などの犯罪に遭う確 治 (強盗殺人含む) (2017年、 安はどう 近の欧 10 1 万人当たり 回目の 州 か。 0) 世 ように、 結論 界銀 人に殺さ 赴 の被害者数 任 の被害者 から言えば 時より 行 きなり n 0 る確 は 率 は か 1 19 は 0 4

断 車も2台奪 遭 ブラジルでことさら犯罪 言できる。 筆者も過去に少なくとも6 度は右腕をナイフで刺され わ n ており、 治安は最悪」 が多 度 V3 0) 拳銃  $\mathcal{O}$ は、 強 لح 貧

じる。ショ

ッピングセンター

のウ

インド

マ

が

並 テレ

んで

11

るのに、

価

格

は

最

倍。 ホ

ビドラマでは

豪邸

や高

の差に加えて麻薬のまん延が

大き

11

لح

感

コンドミニアムでの優雅な口

マンスば

思議ではない。 困層の若者が犯罪に引きつけられるの っ立て小屋暮らし。 が放 放映され 間に二畳 ているのに、 0 この 台所とバ ような状況 自身は家 スル 1 族 は 0 4 貧 掘 不 人

2 ることを考えるとあまりに安 生ビールがジョッキ1杯10レアル マリファナが小分け でまん延している。 10 レアル、 0 1 回分) 末端価格はコカイン 3 5 0 麻薬は が 20 レ 食堂で1食が30レアル Ě 米国以 程度。 11袋10 妻の アル 知人の 上に社会の隅 ~15レアル 1ピノ たばこ1 約 4 密売人によ 0 程度であ ŏ 円 (アンプ 程 箱 々ま が 5

れる上に、 悲に処刑する。 ラジルの治安の現実なのだろう。 太ももの 遭った時、 察官がいるが、 薬組織に買収されているケースが多い ぶりを見せればちゅうちょなく撃つ。 行人に銃を突き付け、 麻薬が切れた中毒者らは買う金を求 心が安まる暇は 麻薬密売人は対立組織や滞納者を 下に拳銃を隠し入れる。 常に犯罪 つでも撃てるように」、 取り締まる側の警察官も麻 彼らと車に乗ると ない。 者に 少しでも抵抗のそ 一命を狙り 知 これ わ 「強盗に n ハの警 必ず てお とさ そし が め

る。

## ナ禍での教育 機会を創出

## NHK 全国へ、民放は地域へ



好宏

ナ旋 ウイ

風 ル スの

は、

H

本列

、島で猛威を振るい

、感染者が 末に、

が発見され

て以 新

来 型

コ 口

П ナ

今年1月

初

8

で日

本で

コ

私たちの生活行動に多大な影響を与えて

2月27日に安倍政権は、

コロ

コナ感染

特

上智大学教授 音

対策として、

た。 的機 る。 会均 送局の開局に当たり、 教育的機能である。  $\mathcal{O}$ 化 後藤新平は、 H 社会的機能として期待され続けてきたの 放 本で最初の放送局である社 放送が20世紀初 成能は、 . 等 \_ この挨拶でも分かる通 そして今、 送 経済 の 家 教 機 その 育 能 庭 放送の機能として「文化 的 の敏 生活 コロナ禍 登場時から注 機 頭に登場して以 能 活 1925年3月 の革新」「 13 挨拶に立った総裁 注目 0) の中で、 四つ ŋ が 団法 を上げ 教育の社会 集まって 目 放 され 再び、 送の 来、 人東京放 22 てき 教育 てい の機 日 そ

> ことにより、 7 の自治体で、 は、 0) 校を控えるよう求めた。 上で休校措置が取られたという。 支援学校に 後、 H 通りである。 3月2日から春休みの期間、 に7都府県に緊急事態宣言が発令。 各自治体の判断に委ねられたが、 16日には、 臨時休校を要請する考えを表 全国の 休校措置がなされたのは周 全国の小中学校と高校、 加えて新学期に入り、 宣言が全国に拡大され 小中高等学校 最終的にその実施 9 生 徒 多く 割 4 0 登 た 月 知 以

的に試みられていたことは、 者の側から、 が急増した子どもたちに向けて、 は確かだ。この間、 育を受ける機会が、 この きであろう。 休校措置によって、 教育コンテンツの提供が積 家庭内で生活する時 大幅に制限をされ 子どもたちが 記録してお 放送事 た 間  $\mathcal{O}$ 教 極

## 注目を集め た NHK for School

教育系の放送コンテンツを最も多く所

門チャンネルを持つNHK 拡大・展開に努めてきた経緯がある。 取り上げてきた通り、 の充実を図るとともに、この欄でたびたび している放 N H K は、 送局 積極的に放送アー は、 何とい 動画配 である。 っても、 信サー カイ 特に近 ・ビス 教 育 ブズ (n)

この るのに便利なコンテンツだと言える。 にまとめた「クリップ」を7000 000本以上、 制作する学校教育向けの for School のウェブ上での無償提供である。 めたのは、 のまとめなどに教員が副教材として利 上、それぞれこのサイトで配信している。 今回 「クリップ」などは、 0) コロナ禍の下で、 NHKによる教育系コンテンツ のサイトがそれで、 学習上のエッセンスを簡潔 「ばんぐみ」 が 教室で行う授業 ぜん注目 N H NHK を 2 本 K を集 用 以 が す

有用だ。 のコンテン くされている子どもたちにとって、 て学校が閉鎖され、 も数多くあるが、 の副教材的 た教育系コンテンツの中には、 このように、NHK ツは、 な利用を意識して作られ まさに、 教育機会の補完に 家庭での が制作・放送してき コ 口 生 活を余儀 ナ禍によっ 学校教育で れたもの これら 極 め て な

家庭内で、 NHK for School を活用

は、 がネックとなっていた。 0 ツとしてのクオリティーが高いのは確かだ。 誘導が必要となってくるが、 ていたが、 接することができるように、 圧倒的な量のコンテンツから適切 て子どもたちが 利用に関しては、 他方で、 公衆送信権の問題や著作権者への 学校等における放送コンテンツ ネット配信での利用に関して 「学び」を実現するに 著作権法上も認められ 教育コンテン 保護者による なも 補償 は のに

提供した場合は、 えるよう定めた。 で、 ことで対応できるようになった。 TRAS)に届け出を行 授業目的公衆送信補償金等管理 授業を目的にインターネットなどを通じて 校など営利を目的としない教育機関 業目的公衆送信補償金制度」を新設 許諾を得ることなく著作物の公衆送信を行 権法では、 この 教育機関を設置した者が、 一定の範囲の利用につき、 6月の国会で可決成立した改正 この問題を解決するため これにより、 教育委員会や学校法人等 補償金を支払う 一般社団法人 協会 学校などが 著作権者の の授業 Ć (SAR-著作

条運用以 作権課は、 ただし、 指針 このコロナ禍である。 この4月に (令 和 2  $\begin{pmatrix} 2 & 0 \\ 0 & 2 \\ 0 \end{pmatrix}$ 「改正著作権法第35 年度版)\_ 文化 庁著

> として SARTRAS を公表し、 ることとなった。  $\begin{array}{c} 2 \\ 0 \\ 2 \\ 0 \end{array}$ 年 0) -度に限 補 償 金 いっては、 は 無 償と 特 す 例

った N H 上 ることがあるように、 ったものであり、 の制約はまだまだ多い とは言っても、 内で、 K の同 権利上の理由 時配信サービス「N この か つ、 対象は 利用者から見た制 鳴り物入りで |で動 画に蓋がされ 教育機関に Н 始 K ま 限

# 地域に即した取り組みが光っ た民 放

色と言えるだろう。 って、 に出した教育支援の取 方で民放は、 後述するように、 県 域 'n 放送とい より地 組 みが多い う特 域 《性を前 0) 色も は 特 面 あ

少なからず地域 付きも強く、 日常生活における人の密集具合も異なる。 を見ても分かるように、 て、その感染者数も異なれば、 特に初等教育においては、 新型コロ ナウイルスの感染者の発生状 その教育現場の ぬの姿が 反映され 各都道 ありようも、 地域との結び 懸念される 府県によっ 況

成する日本民間放送連盟は、 ・ジで、 る社会貢 全国 一の民間放送局、 放各局がコ 献 活動を、 ロナ禍の中で行 民放BS放送局で 民 放 0) そのホー 新 型コ って ムペ 口 構

1

11

サー 対応~ り添ったきめの細かな教育情報を提 眺 取りまとめ、 元するといった活動よりは、 れたような蓄積された放送コンテンツを還 めてみると、 ビスが多いことに気が付く。 視聴者・リスナーに向けて」として 紹介しているが、 NHK for School 地域住民に寄 その一 に見ら 供 覧を する

どの番組を提供。 下旬から配信。 習慣・生活習慣の確立を支援する映像番組 育委員会と共同して、家庭での学習や学習 『ほっかいどう子ども応援テレビ』を4月 例えば、北海道の民放テレビ51 小学生向けの読み聞かせ、 休校中の学習ガイダンス 音楽遊びな 局 が 道 教

てホームルームに模して語っている。 レビホームルーム 委員会と連携し、 へ」を放送。 また、テレビ神奈川では、 現役教員が健康や学習につ 4月下旬から1週間 かながわの子どもたち 神奈川県教育 「テ

を紹介した。 誌面の関係で、 ここでは二つの 事 例だけ

うに提供できるのか、 でもあったことは間違 の中で、放送サービスが教育機会をどのよ り組みは、 全ての子どもたちを巻き込んだコ 自らの 社会的 一連 ない。 な価 !の放送事業者の 値を示す場 口 ナ

はその

都市に適合するか否

かの

位置付

判断

し選択しなけれ

ばならな

## 商復活めぐり議論呼ぶ

#### 経済立て直しの起爆剤?

賞した。

な雇用の

源

であり」

中

国

0)

活力だ

と

省煙台市を視察した際、

露店経

済は

重

激要



教授

茄 两

> 設置 地の

晩で10 に基づ

が仕事に就

14 0) 市

لح

ルー

ル

**き**3 万人

万 部

6 T 0

力

所

店

を 現

業を解決したか……

西

あ

る

都

熱く語っ

た。

また、

数日

後、

李首相

は山 た 露 では

東

北海道大学大学院

としていかがなものかという議論に 急増する中、 打撃をもたら 一つとして復活した。 型 コ 口 ナ感染症 何と している。 「露店経済」 は中 だが、 失業者や減給者が 国 経済にも大き 大国 が雇用対策 になり 0) 経済

力闘争論までささやかれている。

大勢の知識素造力がある。 で、 質問に、 露店 た全国 5 月 28 日、 李克強首相は雇 のお茶売り 「人民の中に尽きることが [人民代表大会 青 改革開放 コロナ騒ぎで2カ月半延 年は 都 用問 だけでどれほど人 会に 0) 0) 題に関 初 閉 戻 8 幕 り、 頃を 0 でする記述 記者会見 大碗 回 想し、 ない 者 期 0) 創 茶

> 経済 今年は としていた「露店経済」 明化された都市ランキング評 すような論評を発信 0) を厳しく取り締まってきた。こうした一 る栄誉を勝ち取るため、 れまで各都市はこの全国 建設指導委員会弁公室 きがメディアをにぎわした。 ったように、瞬く間に各地で復活している。 北京市共産党機関紙の北京日報は 上 しかし、 同 一層部の を評価指数から外すと異例 じ頃、 京日報の は北京にふさわ 「露店や屋台などの路 1週間もたたずに、 動きにより、 露店経済をめぐる 論評は、 しくな まずは (中央文明 波紋 がお墨付きをもら 都 路 の総合評 市で姿を消そう 上での経済 を呼 中 規 上 価 「〞露店経 と、 6月6日 の措 13 央精 制 で んだ。 弁 価 0) お 緩 神文明 水を 置。 経済 に 11 「露店 和 て、 活 お は  $\mathcal{O}$ 付 連 動 文 動 け

> > ものにできる」と強調した。

と主張 限を守り、 での都市の機能に立脚し、 にもならない」 北京の特別な位置付けを強調 そして国 達成感、 イメージをつくり上げる上でためにならな た。その上で「良好な首都イメージと国 水泡に帰する恐れがあるとの見解 首都の良い秩序と環境を築き上げた苦労が 音被害などの問題をもたらし、 る。 露天商は必ず衛生問題、 北 質の高い経済の発展を促進するため 幸福感と安心感を絶えず確固 家のイメージを代表するの 京のイメー 規範意識を強化してこそ市 その上 と指 で ジ 摘。 くは首都 北京は さらに、 終始一 所する。 国 交通渋滞、 0) これまでの 家の 1 貫して 「これ X を示 論評 だ 1 首 たる 民 と 制 ま 騒  $\mathcal{O}$ L で で

した。 らない」と題する評論をネット ₽ \_\_\_\_ 解を示した。 庶民に歓迎され支持されるだろう」との見 ように相い とすぐに嫌な顔をして退けたり 管理上の潔癖さを少し克服 題 ほぼ同時に、 露店経済 は冷静な考えが必要 評論は n だが、 ない 「露天商と都市とは水と火 ブームだが過熱させては 共産党中央機関紙 のではない。 その 方で とも指摘する。 しなけ 上にアッ 屋台を見る 関係部門 「ホットな 人民 n Ħ ば、 0 プ な 0

多方面 問題をも 終始した。 行することと慎 いし、 その ただ都 が満足 上 たら で、 市 理 の管 露 す できる」 0) 重に許 可 店 効果の 理 経 E 性 済 と、 おい 容することは が は 最大化を探ると、 あ 確 て柔 ると かに 玉 虫 色 軟 0) 11 0) 認 ろ 矛盾 業 論 識 13 ※務執 評に ろ

注目を集め、 あ b, 人民日報と北 ネット上 議論を巻き起こした。 では 京 H 人 報 々の 0) 論 露天商 調には 問 温 題 度 差 0) が

とも民 線で語 を強調 る ぎ労働者を低端 てる姿勢が傲慢と批判する意見が多 か 排除した政策に言及し、 北京 2017年に北京市政 と問 日報 Ĺ る論調に 生が重要か」「民 実情を無視し の論調は露天商 い詰めるコメントもあ 「イメージが重要 (生産性の低い) 0 バッサリ 首都の 位置がどこに 合府が出 の問題 る。 か、 優位 した出 点ば 層と差別 と 切 それ な目 ŋ か ま 稼 捨 ŋ

禁令を出り 「〃露店兒 1] 用 損 カ自 を厳 ゙メデ なうため、 方、 イ 禁し 由 アは 以上の評論が出 アジア放送の たし لح 報 中 次のように と報じ、 道 央宣伝部 いう言葉 0) 中 で 中 が 報じてい た背景につい はすでに 玉 ″露店経 中 語 政 央文明 府 版 0 サ る。 4 メ 介公室 ン 1 H ツを て海 0) 夜に は、 ア 使 X

> 経済」 相との され ナル中  $\mathbb{H}$ 露店経済に関 報やラジオ・ た」と伝えて が 権 ・国語サイトも李克強首 封じ込まれ、 力闘 争 する 0) フランス・ e V 白 る。 規 熱 習近平総書 制 化 また、 緩 0) 和 表 アンテル 0) れ 香港 文書 相 だと 記 0) と李首  $\mathcal{O}$ b 報 露店 ナシ IJ 削

ゴ

日

0)

えた。 者はメディアの 題について、 0) と感じる。もっとも などを外すとの規制緩 拠は実は全人代の政 たのは何らかの 真偽不明だ。こうした虚実混 報告の ただ、 ないが、 「露店経済 ようにとの 0) 指導部の合意の結果と言えよう。 経営場所を合理的に設定する」 この 最終版は89カ所修正さ 文明都市の評 特に ような 使用禁止 指 責任者の 報道規制 宗が 「〞流動攤販〞 府 海 「露店経 和に関 ある」と答えた。 活動報告 外 や記 価指数 ノメディ 友人にも尋ねてみ の結果では 事削 交の情 する議論を 済 から露て であ ア (露 除の  $\mathcal{O}$ 0 雇 る。 店 政 な 報 報 禁令 を 天商 商 用 策 11 道 が 筆 ح 加の問 根か 出は

こう明 述し 千 中 そもそも た記者会見で李首相は経 玉 元 にあって看過できな か 1 L た。 元 露店経 約 15 現在、 円 済 0 1 が 人当たりの なぜ 11  $\square$ 側 済 は 必 面 力世界2位 6 につ 要 億 か。 月収 11 人 7 前

か

は

コ

0

再スター

1

-であ

0 口

余地は ナ後

ないと鄭氏は指摘

りと認識すべきだと強

調した。

露

天商

に満たず、依然として脆弱という国

情

をし

もしれない

」と述べ、

中

間

層

が

人口

O

30

0

が

露天商! によれ に留まっており、 したが、その多くはいまだに相 の8億余りの人口は絶対 な展開に触れ、 興味深い。 の状況は公表データより深刻とも言わ 6%で、 焦眉の急を告げ 職を失ったり、 その多くが この層がコロナの大きなダメージを受けた。 月収2千 る。 いう。その上で、 合早報は、シンガポ 大学の収 [国情と改革の再出発」というタイト 究所の鄭永年所長の論考を掲載した。「 6 **月**9日 この 好きからではなく生 ば、 31の大都市では5・ 入分配 <del></del> 元以 デー 鄭氏はコロナ後の露天商の活 付のシンガポ 中 4 -西部に居住する。 下の 月 それは人々の生まれつき 夕 っている。 調 収入が減ったりする住民 0 0) (コロナ以 層 査 都 改革開放によ 根 であ 1 は9億 市 拠 ル 部 る。 0) 貧困状態から脱 国立大学東 1 国 の調 家統 |活難から来たと ルの華字新聞 後) 6 そ 8 % だ。 9 4 0 0 查失業率 は 日対貧困 大都市 れ 計局の発表 元に戻るか b, によると、 北 アジア 万人。 京 れる。 実際 状態 中 ル でも 師 貧 は 出 聯 は 国  $\mathcal{O}$ 発 が 範

は、

九州視察を終えて帰京する高松宮と急

正草案に強い不満を口にした。

行列車の中で一緒になる。

高松宮は憲法

#### 日 記 で 読 む 昭 和 史 109

# 憲法改正 は吉田内閣 日

反対の高松宮、 言いだせず

月

共同通信社社友 俊英

玉

分

31 日 幣原喜重郎内閣が作成した「憲法改 皇の諮問機関として設置され 治憲法) でもあった。 『高松宮日 天 は、 皇 0) 下、 第宮・ まずここに諮問され審議され 記 玉 枢密院は大日本帝国 1 家の重要問題についての 高松宮は、 9 4 6 韶 枢密院 和 てい 21 た組 憲法 0) 年5月 顧 正草 織 問 明 天 官

案ノ枢府本会議ニハ其ノ主権在民ガ余リハ ル ッキリシテイル 力 宮内大臣ニアッタラ、 ラ、 -申シ上ゲタ 会議 ノデ私ト 出  $\widehat{y}$ 席 セ ノ時 ヌツモリ シテハ賛成シカネ 昨 何ント 夜私 デオリマ モ仰ツシ ガ 憲法

> ヤラナカッタ) 上ゲテハヨクナイトノ話ダッタ 心 配ニナッテヰルノニソンナコ ノニ対シテ、 陛 下 1 ガ · ヲ 申 トテモ

細川護貞の 工作をしていた高松宮の情報担当を務め けではなかった。 にはもう出席しないと述べた。これに対し は天皇に憲法改正草案に反対だから枢 の気持ちを伝えたのであ 松平慶民・宮内大臣は 松宮の反対理由は :府とは枢密院の略称のことで、 細川 太平洋戦争中、 门目記 「主権在 御心 4 月 23 配 民 早期終於 H<sub>o</sub> する天皇 高松 0) 細 項 た 戦 Ш

る と云っているが、 は変へる必要があると思ふが、 決権が無くては。 二院の意味がない。せめて上院に一 る必要はないと思ふ。 定だと思ふ。 Ш 務 幣原は得意なんだが、 相の と記した。 は 「すこぶる 案を蹶されたので、 又二院制と云ってもあ 又貴族も今のま々の制 全然米国 御 不満 大体、 僕は 0) 製のものだ」。 様子に 松本 あ 君主制 れは第二案 全然無くな (烝治) 拝 度 れ 0 では L 0 否 度 否

国

枢密院は6月8 日 天皇臨席 の下で開

> 見ヲノベルノモ情勢上ヨカラズ。賛成スル 議 気ニナラズ)」。 た本会議 (憲法草案) 高松宮は日記にこう記 で憲法改正 アリシモ黙ッテ欠席ス 案を無修正 す。 枢 で 可 府本会 ( 意 決 す

後の「 正を中心に民主化を進めようとする各党が かも4月10日戦後初の 声が表面化すれば、困ったことになる。 を出している。弟宮という身内から 改正草案要綱を承認し、 できる状況ではなかった。 密院自体、憲法改正案を修正したり、 圧倒的多数を占めた。高松宮はもとより 天皇は幣原内閣が3月6日発表した憲法 國家再建」 に努めるよう求める勅語 衆院選では、 これを基本に敗る 憲法改 反対 反対 L 0) 戦

# GH Q 総選挙で国民の意思問う

軍総司令部 た。 て選挙権 15 した議員がほとんどを占めてい 翼賛選挙」 H は 衆院は2年の東条英機首相が 0) 改正選挙法が成立した。 20 総選挙には大きな背景と経緯 歳以 被選挙権が与えられ、 で、 G H Q 上の男女\_ 当局 の支援を受け の指令で、 が持つようにな た。 婦人に初め また選挙 45 て当選 行った 年12月 連 が 合国 あ

たのは に命じた。 3月15日以降」 を 46 をかけた。 原内閣は衆院を解散、 改 正 しかし、 年1月21日か22日とすることを 選挙法 46 年 1 月 12 G G が成立した3日 HQが総選挙の日程を指 とするよう覚書で日本政 HQはこの日取りに待っ  $\mathbb{H}$ 0) 翌 ことで、 H 0) 閣 後 0) 議で投票 「総選挙は 18 H 決 示し 府 幣 8 H

公職に就くことを禁じた「公職追放令」を うとともに、 争犯罪人(戦 出した。 大政翼賛会や超国家主義団体の 幹部と特別高等警察 G H Q は 占 犯 [領初期] 46年1月 の逮捕を数次にわ から戦争を推 4日までに、 (特高)、 職業軍人、 幹部などが 進 内務省 たり行 ī た戦

連 判所条例を発する。 帥はA級戦犯容疑者を裁く極東国 成などを相次いで命じた。 された国民の意思」 掃 挙の意義付けであった。 集大成であった。 の民主化、 戦争体制を支配し支えた各界の 財閥解体、 戦争の残滓を一掃する意味でする。憲法改正はこうした一 農地改革、 を問 その 上で うと マッ いうの 労働 掃する意味で 自 力 別組合の ン勢力を 由に 際軍 1 が サ 総選 表明 事 Ì 裁 育

4)はこう記す。「この時期はまだまだ戦社会党の委員長であった片山哲(後の首

直面 望」)。 た。 選挙は「大選挙区・ ころであったと思う」 であって、 正 紙に2人ないし3人の候補者名を書くと 直 0 混乱期 前例の 選挙区の定数によって、 į な気持としては、 国民の多くは食糧不足とインフレに 生きることに精いっぱ 選挙どころでは ない 0) まっ 複雑な方式であ 最中 制限連記制」で行 でも 日常生活 (片山哲 な あ 1枚の投票用 0 つった。 と言 て、 61 問 回 題が しかも |顧と こったと 玉 わ 中 民 展 n

# 日本国憲法」の正文決定

たが、 草案正文」を発表した。 情の中で、 14 なかった。 自 総 心選挙の :由党が141議席を占め第1党となっ 共産党4などであった。 過半数 が結果、 幣原内閣は41 進歩党94、 (234議席) 主な政党は鳩 社会党93、 月 17 には遠く及ば こんな政 H Щ 「憲法改 協同 郎 治 総 党 事 正

してい る。 先述した枢密院は、 憲法」とし、 大日本帝国憲法 た。 現憲法とほぼ同じも 文章もひらがな、 (明治憲法) これを審議したのであ から のであ 口語 日 る。 体と 本

の大命降下により急きょ組閣した。民主幣原は敗戦2カ月後の45年10月、天皇か

ら

党は と厚生相の芦田に述べて総辞職する。 による政府を造る外ない」(『芦田均 申 乗り政権を維持しようとした。 る「国民大会」を開く予定を前に、 此際は一 が進 幣原は進歩党総裁に就任し、 社会両党などが幣原内閣に退陣を求 「政党政治」 む中で行わ 応総辞職を敢行して政 復活に向けて動き出 n た総選挙の この 結果、 しかし、 (党の協・ 幣原は Ħ 流 れに 記 す。 各政 力 8 自

内閣 郎総裁を公職追放にした。 さまざまな形で続く中、 後、ようやく自由、 は次期首相と目されていた自由党の鳩山 单 (第1次) が誕生する。 進歩、社会3党による連立工 進歩両党連立の吉 5月4日、 総選挙から42日 G H Q 作 田 茂 が

衆院に設けられた帝国憲法改正委員会の委 内閣で憲法改正の推進役を務め 理兼国務大臣 で憲法問題の折衝に当たった。 となったものでは全くなかった。 この政局は憲法改正の是非や内容が争点 長に就任した。 幣原内閣の外務相としてGHQとの (無任所) として入閣、 た芦 幣原も副 吉田 田 は、 幣 間 原 総 自

、成立させるという一大事業に取り組吉田内閣はこの体制で議会で新憲法を審



る。 じめとするメディアだった。 中心にしたメディ 入までの決戦ムードを煽った 争もなく、 ていきたい。 今回 その満州事変を称賛し、 から満州 太平洋戦争もなかったと言わ 満州事変がなければ、 事 ア報道 変 前 後 の変節 0) 大阪 たのは新聞をは 太平洋戦争突 れず、日中戦 問 朝 題 H に入 新 聞 9 を

展望

陰で、 か。 はなぜ、 野に総動員体制に向けて手を打ち始め たことは、 暴走を正 1 9 2 0 軍部 どのようにして変節していったの 満州事変直前までメディ 前回 が将来の対米英、 面から批判していた。 年代の軍 までに紹介した。 縮、 協調外交路線の 対ソ戦争も視 メディア ア ĺ てい 軍 部

は、 だった。  $\mathcal{O}$ して以下の2点を押さえておきたい。 満鉄線爆破事件をきっ 変は、 奉天 部としてその本格的な出動が満 その報道 現 H 本の軍部 在 の瀋陽) 道を検証する場合、 が仕組 郊外の柳条湖 かけに始まっ んだ謀略によ 前提と 州 た満 付近 事 変

> 線上で推移してしまう。 が勃発するや、 批判する論調さえ掲げていた。 前まで、 謀略を承知していなかったことだ。 0 ディアだけでなく、 7 進 心められ 新聞は軍縮継続を主張 た点だ。 報道はすべ もう一  $\mathbb{H}$ 本政府でさえそ て軍部 点 だが、 ば、 の発表 事変 軍 日 事 部 本 変 を 直 0) 0

謀本部会議での南次郎陸相 新聞報道がこの点を如実に示してい ことだった。 十分謀略を承知していた。 イアはごく一 つやるかだけの問題だった。 事 変は関東軍の暴走ではなく、 1 9 3 1 部の記者を除き預 年8月 の訓 軍部としては ところが 4 日開 かり 示をめぐる 軍 る。 催 知ら 中 メメデ 0) 央

要求を敢てするが如く観測し或 に対 深く国防に関心せざる者に至り ば軍 南 陸相は訓 Ļ 一部が国 にせずして妄りに 「門外 家の現況に盲目にして不当 示の中で、 無責任 の位 軍 軍 置 -縮を求める世 主りては動えばれる者が 備 0 は四 縮 小 囲 を [の情 の b 乃 至

n

局と協力し謬論を是正する」よう呼びるもの所在少なからず」とし、「諸官 吹し国家国 .軍に不利なる言論宣 伝を敢え は当 てす 掛 け

として厳重警戒を求めた。 ましからざる傾向を辿り寧ろ事態のを有する」にもかかわらず、近時「 地 を示唆する不気味な発言が続 集は要旨のみで明解ではないが、 展」は「一時的現象にあらず永続的現 権回復思想」と「新興経済力の を思はしむる」と指摘。 が「帝国の生存発展上極めて密接 また満蒙問題をわざわざ取り上 隣 戦後公刊 邦の排 満蒙方面発 げ、 武 「甚だ好 )重大化 の資料 外 な関係 力行 象 的 ح 使

くる所なきを期せられたし」 を尽し以て其の本分を完うするの 々奉公の誠を固くし教育に訓練に熱と誠 此の秋に方り職を軍務に奉ずるもの 用 意を欠 は

批判を展開した。 に関する言辞 の半分以上を使って発言を伝え、 殊更軍人に向って の訓示、 これに対し、翌日の大阪朝日新聞 相 の訓 ては 果然問題となる 示にはそこに多大の暗 危険極まる暗 各方面で重 東京朝日の社説は 『熱』と 示を包蔵 |大視||と痛烈な 特に軍革、 誠 を要求す 示、 南陸 「卒然 は 見方 満蒙 相 面

解され とまで書いた。 か は \$ きずって行こうとする n 13 た感がある。 批判というよ 同様 、の横車に引きずら か 満蒙外 と批 の批判が見 てもまさに 判 交を n 相 毎 軍 日や報 弁解 b 次 「このうえ満州 寝耳に 人 れてゆくの 11 だ。 0) あ 流 知新聞社 辞 せ その る意 水。 0) は 考え ない 度 扱 を 図 反肝を抜 問 説 許 0) 通 1, 0) ぬなどで さぬ 題 で 現 ŋ 論調 12 が は n 軍 引

# 批判よそに軍部は秘かに戦争準備

ィア展望

デ

えば柳 ナリ。 満蒙問 る中 キコ 決策 参謀が 後刊 題私見」 トシテ国防ヲ安定セシムル為満蒙問 七 重要ナ ても、 類 だ だが ナリ  $\vdash$ 決 玉 ハ満蒙ヲ我領土トスル以外絶対ニ途 行 の資料が 題 ヲ肝銘スルヲ要ス」とし、 条湖事件 セ 此 や欧米の 1 9 3 1 軍 では、 ン 部 敵 ル 戦 対支問 بل ヲ撃 1 戦略拠点ナリ が 争 喝 スル 集で明らかになって 既に腹を決 初期 反発につい 破 破 年5月にまとめ の主導者、 満蒙 *)* \ スル覚悟ナクシ 題ニアラズシテ 木ニ 於 *)* \ ケ 我国運発 また国 拠 め 以リテ魚 ル ても 石 7 東洋 軍 原莞爾関 11 事 内 た たことは 「支那 懸念され ノ保 的 世 ヲ テ 展 対 e V 米問 ノ為最 満 求 此 成 題 る。 護者 蒙問 功 ノ解 問 東  $\Delta$ 問 0 軍 戦 ル 題 題 題 例

> 述べ る。 国 亦 え所 内 テ対外発展 心 た。 ブ改 その上で ラ 沸 ナ 造 騰 ij ヲ サ 断 と自 ニ突進セシメ途 セ 我国 行スル 团 結 セシ 情 た ヲ適当ト ハ寧 0 Ž Š 口 ル ŋ 中 速 コ É Ż 1 状 語 玉 況 *7* \ とま 家 0 歴 二 7 日 ヲ 史 1] 駆 N

せ、 でなく、 た。 を中 0 治は政党間 満蒙問 0) 当 クー 軍の 一時日 狼煙と位置 心に底が - デター 青年将校と右翼勢力は 国 題 本 ]内政 解決 なしの は 0 政争 世 是界恐慌 治の 付けてい 0) 計 Í 疲弊が広がっ 画が進行していた。 と腐敗に明け 刷 的 新 には、 のあ た。 総 お 満蒙領力 動 りを受け 員 不満を募ら 暮 体 だ n 制 有 だけ 石原 7 が 農 確 政村 13

か、 ス 0) 国 テ団結シ 謀略ニ 解決) 家 石原はさらに とまで覚悟を決めていた。 ヲ強 争計 戦争 ヨリ ヲ望ミ難キ場合ニモ若シ軍部 引スル 画 機会ヲ作製シ軍部 計 も出来上が 画 コト 「国家の状況之 ノ大綱ヲ樹 必 スシモ困 つてい テ得 覚悟 主導ト た。 (満蒙問 難ニ ルニ どころ アラ ナリ ニシ 於 テ 題

説得を試みた。

それ 永田: げ 問 る大義名分を求め 鉄 は 題 は 同 山 軍 軍 年8月12 事 中 央が欧 長 に当 H 米の 付 てた書  $\mathcal{O}$ 7 反発を多少とも 石 11 たことだっ 原 簡 か を読 ら 軍 むと分 中 た。 央 和  $\mathcal{O}$ 

ら

か

会ナリ」 ヲ事 察ス。 念二御 陸軍大臣 理解アル国民ハ軍 ナシトノ意見ニー 交交渉ノ無力ヨリ生シ来リタル の訓示を持ち出し ように求めたもの 査のため満州興安嶺方面に調 満蒙問 クリシコト 央部 ・村震太郎大尉が現地で殺害され 示セラレタル最モ時機ニ適セル 拝 実ニ示ス為今回 啓 座 而 題 とした関 候 採用 カ満蒙問題ニ対スル モ 解 此 決ノ端緒タラシムル 回 生 訓 で始まる書簡 ス 等 ノ 示ヲ一片ノ議論ニ止 ル 致セントシツツアル 中 だ。 東軍 部ノカニョリ 所 「満蒙問題ナル 村 深ク信スル 事件 事 とくに石原は 'n ナ 件 意見書を再 ラサリ は、 ハ真ニ絶好 就 査に出 軍 解決 モノニシテ 所ナリ 牛 部 対 絶好 モ た事件を 軍 モ ノ 一考する メス之 重 スル 誠 南 ノ 7 今日 1 陸 ノ機 意 任 *7* \ 61 戦 二 外 外 Ŧ と 拝 相 た 残

して殺害されたと抗議 正当な調 月27日だったが伏せられ 殺害事件が新聞発表され この書簡が功を奏し、 分然の 論 国 [側は事 事 査旅行なの 伜 変させた。 公表はそれ ,実無根と反 L まで てい 中 た。 8 真 月 17 論 国 和究明 軍に 事 0) してい た。 件発生 軍 H . ス 日 部 中 を パ 本側 村 求 イと は 大尉 判 は 6 0 め

#### 調査会だより

#### メディア関係の調査・研究成果の出版を助成します

- ◇対象作品▶メディアに関する未発表の原稿で、原則として 既に完成されたものに限ります。
- ◇応募期間▶2020年4月1日~7月31日
- ◇応募作品の中から原則として対象作品1、2点を、外部専門家や調査会関係者から成る審査委員会が決定します。
- ◇問い合わせ先▶公益財団法人 新聞通信調査会 電 話 03-3593-1084

e-mail chosakai@helen.con.ne.jp 詳しいことはHP (https://chosakai.gr.jp) の事業紹介の中の出版補助の項目を参照ください。

#### ● 月例講演会、7月より事前申し込み制で再開

新聞通信調査会は、7月29日(水)に「コロナ禍以後のヨーロッパ」との演題で欧州情勢に詳しい帝京大の渡邊啓貴教授による定例講演会を開きます。今回は新型コロナウイルス感染防止の観点から定員20名の事前申し込み制とします。

場所は日本プレスセンタービル9階会見場で、13:30~14:30。講演終了後に30分程度の質疑応答があります。

#### 【申し込み方法】

6月29日(月)から7月6日(月)の間に電子メール(chosakai@helen.ocn.ne.jp)またはFAX(03-3593-1282)にて、①住所②氏名③連絡先電話番号④メールアドレス―を記載の上、お申し込みください。(電話での問い合

定 価:150円/1年分1,500円(送料とも) 発行所:公益財団法人 新聞通信調査会

〒100-0011

東京都千代田区内幸町2-2-1 日本プレスセンタービル 1 階 つ 03-3593-1081(代)/FAX 03-3593-1282

E-mail:chosakai@helen.ocn.ne.jp

購読希望の方は当会のホームページ(https://www.chosakai.gr.jp/)にアクセス、最下段の紺色帯の「メディア展望・書籍お申込み」よりお申し込みください。以下のいずれかの方法で前払いしてください。

- ◇郵便振替口座 00120-4-73467
- ◇ゆうちょ銀行 O一九 店 当座 0073467
- ◇みずほ銀行 東京営業部 普通 1550378

印刷所:株式会社 太平印刷社

ISSN 2187-2961 © 新聞通信調査会2020

#### わせは不可)

なお申込者多数の場合は抽選とさせていた だきます。当日はお名前と体温チェック・手 指の消毒をさせていただきます。マスク着用 でないと入室できませんのでご注意ください。

#### 編集後記

- ■今月号の巻頭は、ドイツ在住作家の川口マーン惠美氏にドイツ事情を書いていただきました。たまたま読んだ『ドイツで、日本と東アジアはどう報じられているか?』(祥伝社新書)が興味深い内容だったので、お頼みした次第です。東独出身のメルケル首相が15年の長きにわたって政権を担うことができた"謎"に迫っています。またメルケル首相いわく、ドイツにとっては「中国がアジアで一番大切な国」とのこと。確かに現下のコロナ禍でも欧州と中国の密接な関係が浮き彫りになりました。世界保健機関(WHO)のテドロス事務局長の中国寄りはよく取り上げられますが、実はドイツも同様なのかもしれません。
- ■時事OBで拓殖大学教授の名越健郎氏には、ケネディ暗殺事件解明をめぐる最近の動きについて書いてもらいました。米中央情報局(CIA)の一部職員犯人説を打ち出した NHK の番組は興味深く見ましたが、名越氏によると、ネット情報でも出ているとのことで、ドラマと事実関係が曖昧なようです。手慣れた筆致で内容的にも面白く、さすがと思いました。
- ■共同〇Bの鳥居英晴氏による「徳光衣城の新聞街放浪記」は今月号で終了です。徳光が古野伊之助と並ぶような存在だったということで勉強になりましたし、読ませる連載でした。
- ■時事OBの大先輩である高橋守氏より、『私家版・私の履歴書 半生を報道人として生きて』四百字250枚ほどを書き上げたとの連絡がありました。ご興味のある方は sky60@kc5. so-net.ne.jp に空メールを送ってください。添付ファイルで届けてくださるとのことです。

(倉沢章夫)